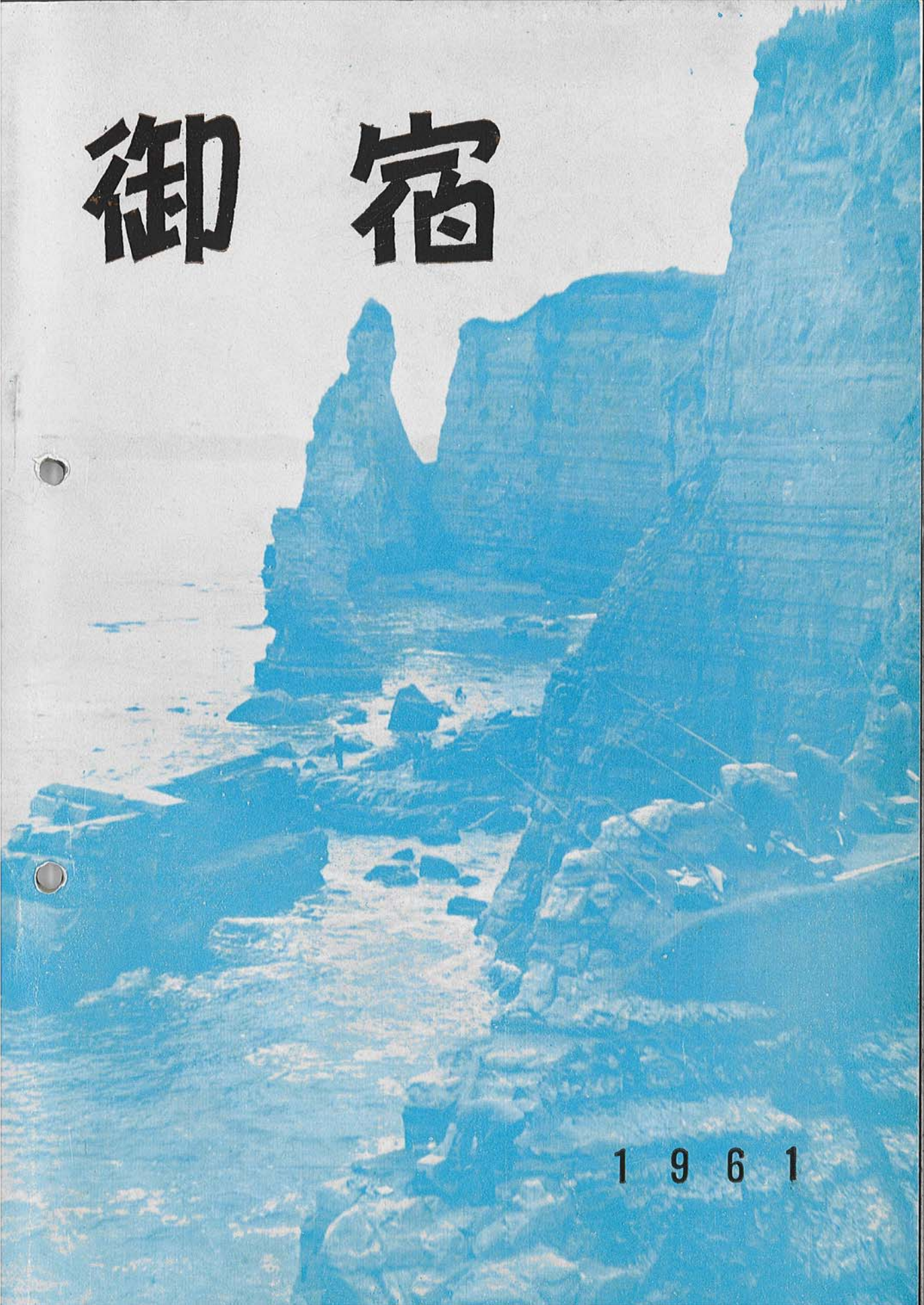


御宿



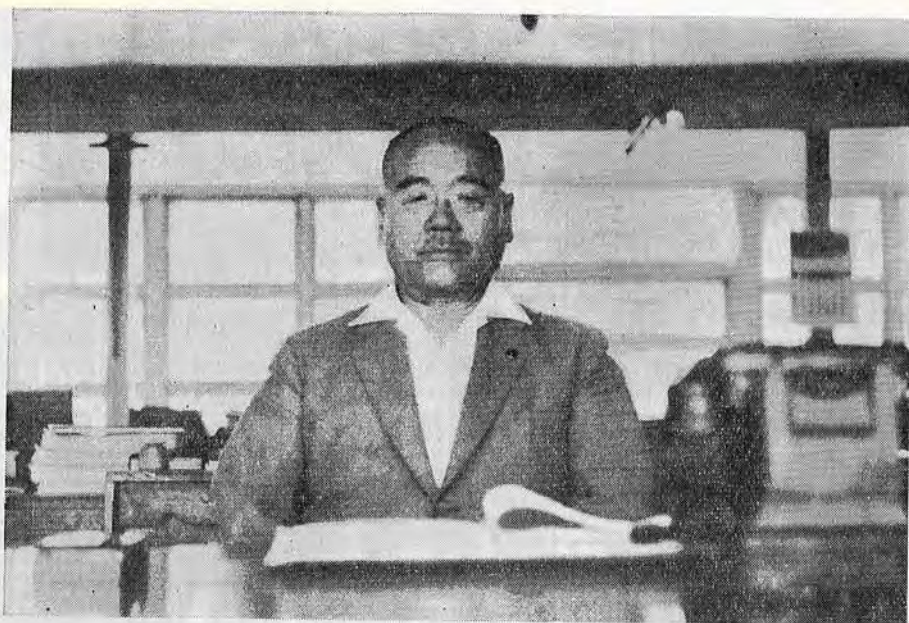
1 9 6 1



《役 場》

目 次

はじめに	4
町のあゆみ	5
自 然	6
人 口	9
行 政	18
財 政	24
農 業	29
水 産 業	37
事 業 所	45
商業・工業	48
教 育	51
厚生・衛生	55
交通・通信	58
金 融	63
公 安	64
観 光	67
特別職・吏員名簿	79
公職者名簿	81
官公署・各種団体	82



はじめに

私達の町「御宿」が合併により新発足してから早くも6年の歩みを重ねました。

この間新しい時代にそった適正規模団体として真に血の通う行政、人情の豊かさを反映する円滑なる運営は新町建設計画遂行の上に大いに役立ち、町民各位の御協力と共に着々その実績を挙げて参りましたことはまことに喜ばしいことであります。

過ぐる6カ年の足跡を顧りみますとき一応自治体としての形態、内容共に充実し、基礎作りは出来たものと考えます。

今後は理想郷「御宿」の実現を期するため、皆さんと共に一層の努力をいたしたく念ずるものであります。

さてこのたび町のことが一目でわかる「町勢要覧」を発行し、皆さんに御利用頂くことになりました。

整わない点もあろうかと存じますが、その点補足して頂き充分御利用いただければ幸いです。

この編集に当り、各種資料の提供、また何かと御配慮下さいました関係者に深く感謝いたします。

昭和36年7月

町長 井上 文吉

町のあゆみ

自

御宿町は大正3年に町制を施行して御宿町となったが、それ以前には御宿村といい、また明治維新より以前は御宿郷といわれていた。

御宿郷は浜、須賀、久保、六軒町、新町、高山田、西林寺の7部落を併せて総称したのであるが、慶長2年の御宿郷縄打帳、すなわち検地帳によると当時御宿郷は、浜村、久保村、高山田村、西林寺村の4部落であったことが記されている。

須賀および六軒町、新町がそれぞれ御宿郷の部落として出来たのは慶長よりもっと後、明暦以降のことに属する。

「御宿」という名称については、昔北条時頼が諸国行脚の際たまたま当地に立ち寄り、あまりにも景色がよいので一泊された。

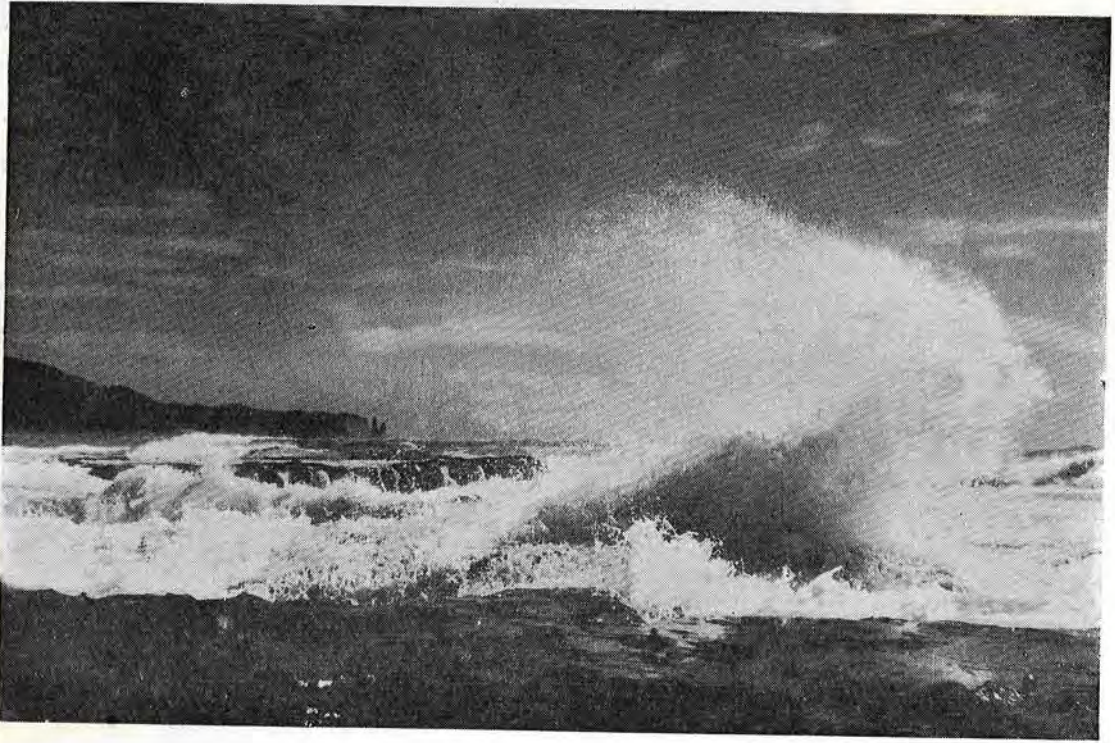
それに因んで詠んだ歌に

御宿せし そのときより人とはば 網代の海に夕影の松
という古歌があり、この歌がそのまま地名となったと言い伝えられているが、はっきりした文献があるわけではない。

かくて昭和30年3月布施村の一半と、浪花村岩和田地区と町村合併を行ない、新しい御宿町となった。



《最明寺山頂よりみた御宿》



《網代湾の荒波》



位置と地勢

御宿町は、千葉県の東南部に位いし西北、北、北東は、愛宕山・轟山などの山岳に抱かれ、東南および南西は太平洋に面し約 2,500メートルにおよぶ海岸線は、変化に富んだ景勝地として、よく知られている。

その他の土地はおおむね平坦で、西北に勝浦市、北東に大原町があって、周囲は約26km、東西約 7.5km、南北約 5.7km である。

千葉県 御宿町

千葉県夷隅郡御宿町須賀 160 番地の 4

御宿町

役 場 所 在 地	千葉県夷隅郡御宿町須賀 160 番地の 4		東経 140度21分22秒, 北緯 35度11分08秒		
御宿町の位置	方 位	経 緯 度	距 離	周 囲	面 積
	極 東	140 度 23 分 21 秒	} 7.5km	} 25.6km	} 25.04km ²
	極 西	140 18 24			
	極 南	35 10 10	} 5.7km		
	極 北	35 13 15			

地 区 別 面 積

	総 数	御 宿	布 施	岩 和 田
面 積	25.04km ²	12.11km ²	10.50km ²	2.43km ²

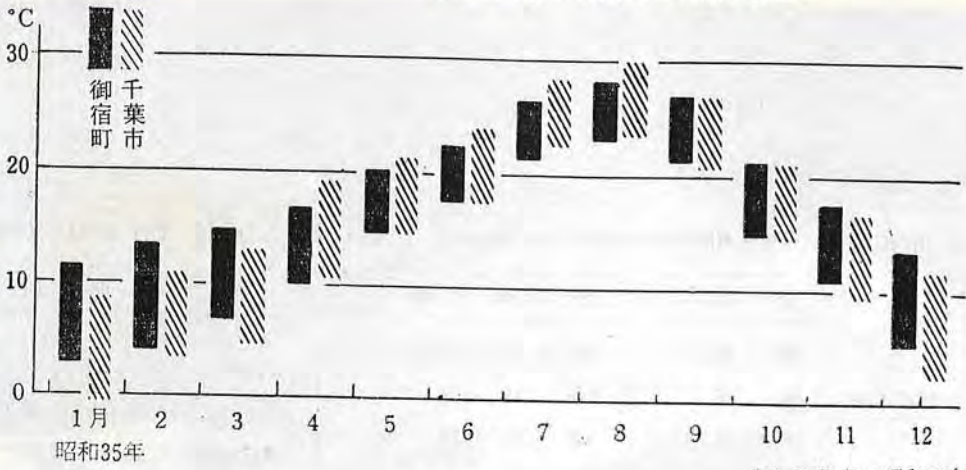
土 地

地 目	地区別			
	総 数	御 宿	布 施	岩 和 田
総 数	1,856町	635町	1,034町	187町
田	374	145	205	24
畑	201	91	65	45
宅 地	80	45	28	7
山 林	901	263	616	22
原野その他	300	91	120	89

土地台帳に登録された土地のうち課税対象となる昭和36年1月1日現在の面積である。

冬暖かく 夏すずし

(月平均の最高・最低気温)



(注 千葉市は昭和34年)

気 象

位置が海岸線にあるため、大気清澄で紫外線に富み、冬暖かく、夏は涼しい南風に見舞われ、避暑地として最適である。

冬期温暖のため降霜期間が非常に短く、豊作物に関係の深い、無霜期間は平均 300 日、過去10年間の平均降雨量は年 2,188 耗と比較的多いため豊作物の生産に恵まれている。

風向は晩秋から冬期、春期にかけて北風、北北東風が多く、晩春から夏期、初秋にかけて、南東風が多い。台風は主に9月初旬に1、2回襲ってくるが被害は少ない。

年間を通じ寒暑の差が少なく住みよい気候といえよう。

気 象 表

年 次	気 温			最多風向	降 水 量	天 気 日 数		
	平 均	最 高	最 低			快 晴	曇 天	降 水
昭和33年	年平均 15.5	18.8	12.6		2,129.1	77	164	164
34	16.0	19.3	13.1		2,196.6	67	166	187
35	15.7	19.1	12.7		2,543.5	71	163	164
35年1月	月平均 6.9	11.3	3.1	NNW	55.2	11	7	6
2	8.4	13.2	4.0	NNW	25.0	9	5	7
3	10.4	14.2	6.6	N	98.3	1	11	14
4	13.1	16.7	9.9	N	287.5	5	14	15
5	17.0	19.7	14.6	SSW	247.4	4	17	21
6	19.7	22.1	17.4	SSW	136.2	1	24	11
7	23.6	26.2	21.4	SSW	98.6	3	20	12
8	25.2	28.0	22.9	SSW	458.0	5	14	16
9	23.6	26.7	21.3	NNE	207.2	9	13	18
10	17.3	20.9	14.7	N	317.1	7	13	18
11	13.8	17.3	10.8	N	504.7	7	15	18
12	8.9	13.2	5.2	NNW	108.3	13	6	8

N北, S南, E東, W西, 降水日数とは雨量に関係なく 0.1 耗以上降水のあつた日

人
口



国の人口は毎年増加しているのに反し、本町の人口は年々、減少しつつある。

大正15年の総人口は4,408人、以来昭和20年まで増加傾向にあった人口は昭和23年終戦の影響による一時的な増加を除くと、減少傾向に入り、昭和23年より昭和27年まで平均129人、合併した昭和30年から昭和35年にかけて年平均96人と、文字通り減少の一途をたどっている。

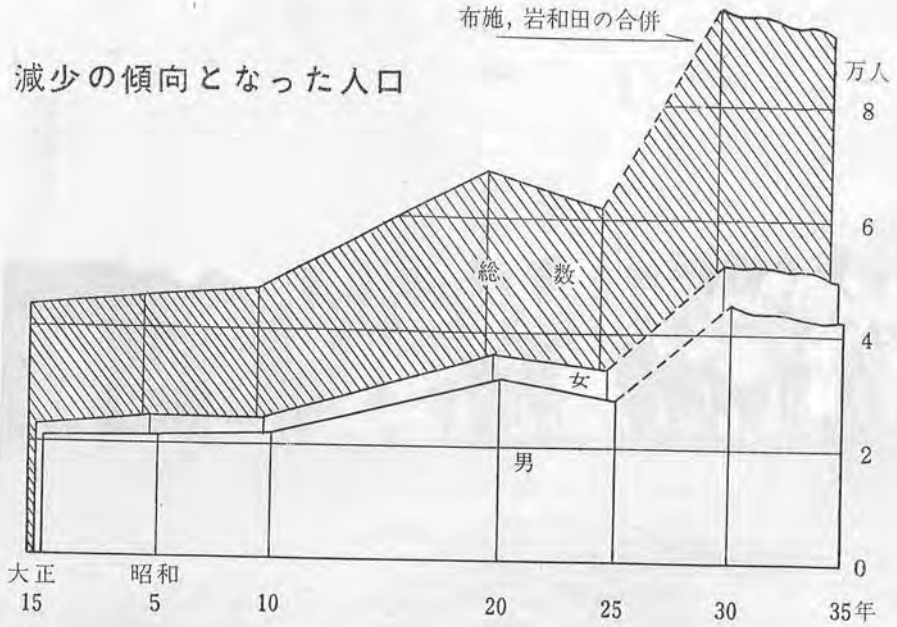
これは自然動態（出生—死亡）による増を社会動態、すなわち転出人口がはるかに上まわるためである。

このように転出人口の多いのは、学校卒業者の80%強が都市を中心として就職していくため、今後もこの傾向は続くものと予想されるので人口の増加は望めない。

人 口 の 推 移

年次	世帯数	人 口			前年に対する増減	女100に対する男	1世帯平均人員	人口密度 1km ²	面積 km ²	摘 要
		総数	男	女						
大正15年	982	4,408	2,122	2,286		92.8	4.5	448	9.85	国勢調査
昭和5年	1,022	4,611	2,153	2,458	203	87.6	4.5	468	〃	
10	1,016	4,798	2,197	2,601	187	84.5	4.7	487	〃	推 計
13	1,057	4,987	2,285	2,702	189	84.6	4.7	506	〃	
17	1,079	6,829	3,227	3,602	1,842	89.6	6.3	693	〃	国勢調査
20	1,196	6,829	3,197	3,632	0	88.0	5.7	693	〃	
22	1,405	6,592	2,942	3,650	△ 237	80.6	4.7	669	〃	臨時国勢調査 常住人口調査
23	1,421	6,681	3,044	3,637	89	83.7	4.7	678	〃	
25	1,307	6,195	2,816	3,379	△ 486	83.3	4.7	629	〃	国勢調査
27	1,314	6,165	2,699	3,466	△ 30	77.9	4.7	626	〃	
30	2,022	9,753	4,519	5,234	3,588	86.3	4.8	389	25.04	〔国勢調査布施 岩和田合併
31	2,013	9,630	4,437	5,193	△ 123	85.4	4.8	385	〃	
32	2,014	9,590	4,388	5,202	△ 40	84.4	4.8	383	〃	推 計
33	2,024	9,445	4,304	5,141	△ 145	83.7	4.7	377	〃	
34	2,029	9,402	4,267	5,135	△ 43	83.1	4.6	375	〃	国勢調査
35	2,047	9,273	4,313	4,960	△ 129	87.0	4.5	370	〃	

減少の傾向となった人口



地区別世帯および人口概数

部 落 名	世 帯 数	人 口 (35.10.1)			昭和30年と比較 (△は減)	
		総 数	男	女	昭30年人口	増 減 数
須 賀	277	1,134	523	611	1,127	7
濱	222	1,031	486	545	1,137	△ 106
高山田	75	400	198	202	433	△ 33
久保	183	857	389	468	963	△ 106
新町	369	1,539	699	840	1,425	114
六軒町	193	751	349	402	833	△ 82
小 計	1,319	5,712	2,644	3,068	5,918	△ 206
七本	30	145	73	72	162	△ 17
実谷	106	575	270	305	645	△ 70
上布施	186	992	473	519	1,083	△ 91
小 計	322	1,712	816	896	1,890	△ 178
岩和田	406	1,849	853	996	1,945	△ 96
合 計	2,047	9,273	4,313	4,960	9,753	△ 480

人 口 動 態 (年次別)

年 次	自 然 動 態						社 会 動 態		
	出 生	死 亡	自然増減 出生-死亡	死 産	婚 姻	離 婚	転 入	転 出	社会動態
昭和30年	184	74	110	19	68	9	484	784	△ 300
31	167	97	70	16	65	2	422	586	△ 164
32	168	114	54	23	73	5	370	635	△ 265
33	172	110	62	16	77	5	347	538	△ 191
34	173	99	74	18	87	7	294	388	△ 94
35	150	99	51	10	65	2	297	418	△ 121

月 別 人 口 動 態 (昭和35年)

月 別	出 生			死 亡			自然 増減	死産	婚姻	離婚	転 入	転 出	社会増減
	計	男	女	計	男	女							
総 計	150	79	71	99	55	44	51	10	65	2	297	418	△ 121
1月	18	9	9	5	3	2	13	1	8	-	28	24	4
2	13	4	9	6	3	3	7	1	8	-	26	29	△ 3
3	13	7	6	11	4	7	2	1	9	-	29	82	△ 53
4	14	10	4	9	4	5	5	1	7	-	38	64	△ 26
5	21	13	8	15	8	7	6	2	4	-	16	32	△ 16
6	6	4	2	6	4	2	-	-	6	-	12	28	△ 16
7	5	3	2	7	4	3	△ 2	-	1	-	15	23	△ 8
8	7	2	5	6	4	2	1	-	2	1	22	39	△ 17
9	14	6	8	8	4	4	6	-	3	1	34	26	8
10	18	9	9	7	2	5	11	1	5	-	25	32	△ 7
11	9	5	4	7	6	1	2	-	4	-	24	23	1
12	12	7	5	12	9	3	-	3	8	-	28	16	12

県 内 外 別 転 出 入

昭和35年1月~35年12月

入				出			差 引
計	県 外	県 内	計	県 外	県 内		
297	143	154	418	259	159	121	

町 内 在 住 外 国 人

昭和36年4月末現在

外 国 人 総 数			韓国または朝鮮		中 国		そ の 餘	
総 数	男	女	男	女	男	女	男	女
9	3	6	3	5	-	1	-	-

昭和30年国勢調査からみた御宿の人口および面積

面 積

人 口		昭和25～昭和30年の増加(△減少)		面 積 (平 方 呎) 昭 和 30 年	人 口 密 度 (1 平 方 呎) 昭 和 30 年
昭 和 30 年	昭和25年(組替)	増 加 数	増 加 率		
9,753	10,277	△ 524	△ 5.1	25.04	389.5

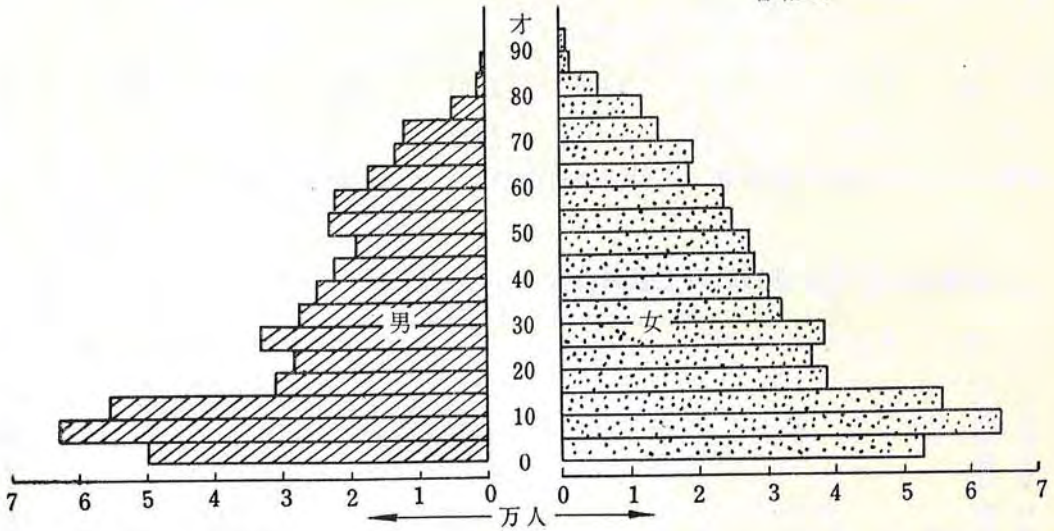
年 齢 (5 歳 階 級) 配 偶 関 係 お よ び 男 女 別 人 口

年 令	総 人 口			男				女			
	総 数	男	女	未 婚	有配偶	死 別	離 別	未 婚	有配偶	死 別	離 別
総 数	9,753	4,521	5,232	-	-	-	-	-	-	-	-
0～4	1,038	508	530	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	1,274	629	645	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	1,121	562	559	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	706	321	385	321	0	0	0	384	1	0	0
20～24	644	280	364	244	35	0	1	234	129	0	1
25～29	721	340	381	114	223	0	3	54	322	0	5
30～34	596	272	324	29	233	3	7	25	283	8	8
35～39	560	254	306	11	240	2	1	10	251	36	9
40～44	516	232	284	6	223	2	1	9	229	40	6
45～49	469	194	275	2	186	4	2	4	215	53	3
50～54	479	228	251	4	204	19	1	4	201	43	3
55～59	454	217	237	2	194	19	2	2	146	86	3
60～64	354	168	186	0	146	22	0	4	90	91	1
65～69	324	130	194	0	100	27	3	1	79	114	0
70～74	256	116	140	2	81	33	0	3	39	97	1
75～79	162	53	109	1	32	20	0	0	13	96	0
80～84	59	11	48	0	4	7	0	0	3	44	1
85～89	16	6	10	0	2	4	0	0	0	10	0
90～94	4	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0
95～99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15歳以上計	6,320	2,822	3,498	736	1,903	162	21	734	2,001	722	41

少ない青壮年の男子

— 5才階級別の人口 —

昭和35年



年齢（各歳）および男女別15歳未満人口

年 齢	男		女		計
	男	女	男	女	
0	103	98	98	98	201
1	89	105	105	105	194
2	103	103	103	103	206
3	95	104	104	104	199
4	118	120	120	120	238
5	129	145	145	145	274
6	132	127	127	127	259
7	149	150	150	150	299
8	144	142	142	142	286
9	75	81	81	81	156
10	97	97	97	97	194
11	130	144	144	144	274
12	97	95	95	95	192
13	133	127	127	127	260
14	105	96	96	96	201
15歳未満総数	1,699	1,734	1,734	1,734	3,433

外国人の国籍および男女別人口

外国人総数			韓国または朝鮮		中 国		そ の 他	
総 数	男	女	男	女	男	女	男	女
13	7	6	7	5	0	1	0	0

労働力状態および男女別15歳以上人口

	15歳以上 人口	労働者					完全 失業者	非労働力	不詳
		労働力総数	就 業 中			就業者総数			
			従業中	休業中	休業中				
総 数	6,320	4,103	3,950	3,866	84	153	2,217	0	
男	2,822	2,366	2,284	2,219	65	82	456	0	
女	3,498	1,737	1,666	1,647	19	71	1,761	-	

産業および男女別15歳以上就業者数

産 業 分 類	総 数	男	女
I 農 業 ・ 狩 猟 業	1,709	722	987
II 林 業 ・ 狩 猟 業	9	6	3
III 漁 業 ・ 水 産 養 殖 業	505	486	19
V 建 設 業	176	167	9
VI 製 鉄 業	394	241	153
VII 卸 売 業	547	268	279
VIII 金 融 ・ 保 険 業	24	12	12
IX 運 輸 ・ 通 信 業	144	126	18
X サ ー ビ ス 業	367	192	175
XI 公 益 事 業	74	63	11
XII 分 類 不 能 の 産 業	0	0	0
総 数	3,950	2,284	1,666

職業（大分類）および男女別15歳以上就業者数

職 業	総 数	男	女
I 専 門 的 ・ 技 術 的 職 業 従 事 者	160	101	59
II 管 理 的 職 業 従 事 者	38	38	0
III 事 務 従 事 者	219	149	70
IV 販 売 従 事 者	469	227	242
V 農 林 ・ 漁 業 従 事 者 お よ び 類 似 職 業 従 事 者	2,184	1,182	1,002
VI 採 鉱 ・ 採 石 従 事 者	0	0	0
VII 運 輸 従 事 者	67	66	1
VIII 技 能 工 ・ 生 産 工 程 従 事 者 お よ び 他 に 分 類 さ れ ない 単 純 労 働 者	663	464	199
IX サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	150	57	93
X 分 類 不 能 の 職 業	0	0	0
総 数	3,950	2,284	1,666

従業上の地位および男女別15歳以上就業者数

	総 数	雇用者の ある業主	雇用者の ない業主	家族従業者	民間の雇用者	官公の雇用者	不 詳
総 数	3,950	95	1,230	1,333	1,060	232	0
男	2,284	84	888	378	789	145	0
女	1,666	11	342	955	271	87	0

世帯の種類および世帯人員別世帯数および世帯人員

全世帯		普通世帯													1人の準世帯	2人以上の準世帯	
世帯数	世帯人員	総数		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人以上	世帯数	世帯数	世帯人員
		世帯数	世帯人員														
2,022	9,753	2,007	9,728	110	201	269	312	345	316	220	147	56	23	8	12	3	13

世帯の種類・住居の種類および住宅の所有の関係別・世帯数世帯人員および畳数

住居の種類および住宅の所有の関係	普通世帯					準世帯				
	世帯数	世帯人員	一世帯当り人員	畳数	一人当り畳数	世帯数	世帯人員	一世帯当り人員	畳数	一人当り畳数
総数	2,007	9,728	4.85	-	-	15	25	1.69	-	-
住宅	1,999	9,706	4.86	39,846	4.11	10	14	1.40	78	5.57
持家	1,720	8,637	5.02	36,486	4.22	0	0	-	-	-
借家	226	872	3.86	2,761	3.17	0	0	-	-	-
給与住宅	22	93	4.23	360	3.87	0	0	-	-	-
間借	31	104	3.35	239	2.30	10	14	1.40	78	5.57
不詳	0	0	-	0	-	0	0	-	-	-
寄宿舎	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-
下宿屋	2	6	3.00	-	-	0	0	-	-	-
その他	6	16	2.67	-	-	5	11	2.20	-	-

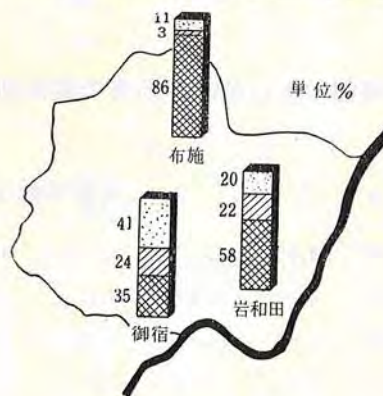
世帯主の労働力状態および大分類別普通世帯数および普通世帯人員

世帯主の労働状態および産業（大分類）	世帯数	世帯人員
総数	2,007	9,728
世帯主が就業者	1,677	8,557
I 農業	546	2,988
II 林業・狩猟業	5	22
III 漁業・水産養殖業	306	1,553
IV 鉱業	0	0
V 建設業	104	544
VI 製造業	167	828
VII 卸売および小売業	257	1,228
VIII 金融保険不動産業	9	36
IX 運輸通信およびその他の公益事業	78	417
X サービス業	159	732
XI 公務	46	209
XII 分類不能の産業	0	0
世帯主が完全失業者	37	156
世帯主が非労働力	293	1,015
世帯主の労働力状態不詳	0	0

どんな産業に従事しているか

— 産業別の就業人口割合 —

(昭和33. 2. 1)



産業別人口および世帯数

昭和33年2月1日現在

区分	項目	御 宿			布 施			岩 和 田			計		
		世帯数	人口	就業人口	世帯数	人口	就業人口	世帯数	人口	就業人口	世帯数	人口	就業人口
第一次産業	農 業	199	1,040	588	266	1,561	823	18	65	90	483	2,666	1,501
	林業及び狩猟業	1	7	3	1	2	4	1	5	1	3	14	8
	漁業及び水産業	137	689	257	—	—	—	215	1,100	388	352	1,789	645
	計	337	1,736	848	267	1,563	827	234	1,170	479	838	4,469	2,154
第二次産業	鉱 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	建 設 業	98	469	136	1	7	7	22	117	34	121	593	177
	製 造 業	195	905	439	7	36	20	36	144	142	238	1,085	601
	計	293	1,374	575	8	43	27	58	261	176	259	1,678	778
第三次産業	卸売業及び小売業	232	1,084	488	5	17	21	48	180	85	285	1,281	594
	金融, 保険, 不動産業	16	71	26	2	12	5	1	5	1	19	88	32
	運輸通信及公益事業	91	436	119	7	35	17	11	53	17	109	524	153
	サービス業	141	638	315	17	83	38	28	127	52	186	848	405
	公務	35	143	50	10	55	20	6	34	10	51	232	80
業分類不能産業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	515	2,372	998	41	202	101	94	399	165	650	2,973	1,264	
無 業	102	222	—	5	7	—	18	39	—	125	268	0	
総 数	1,247	5,704	2,421	321	1,815	955	404	1,869	820	1,972	9,388	4,196	

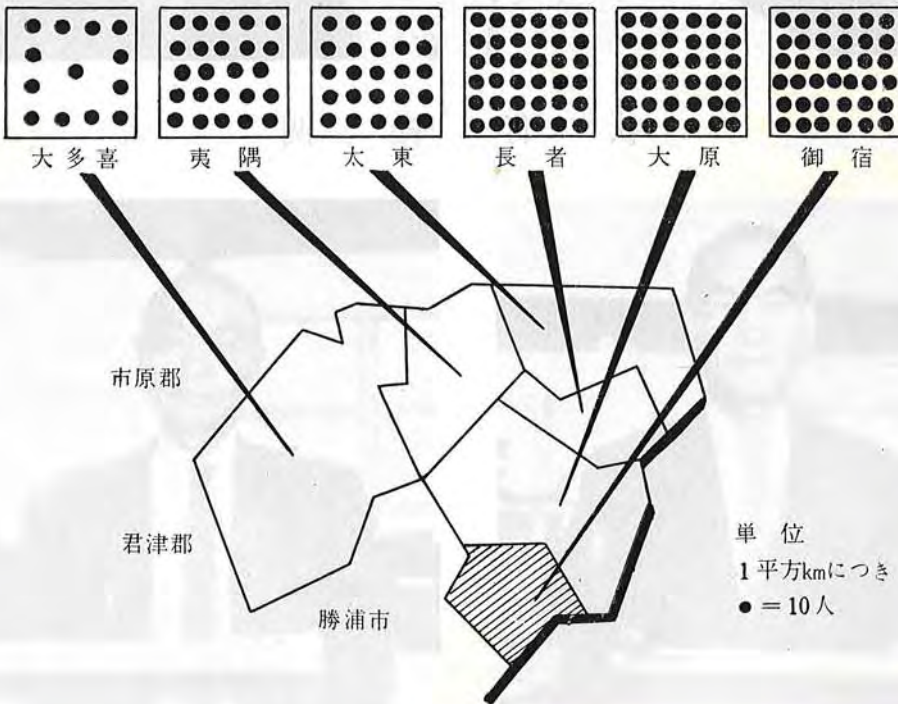
◎ 昭和33年2月1日 全世帯調査による。

郡下各町村の人口比較（昭和35年国勢調査）

町名	世帯数	人口			一世帯当り人口	人口密度 1km ²	昭和30年人口との比較 △ 減		
		総数	男	女			昭和30年人口	増減数	増減率
数総(平均)	15,437	74,914	35,670	39,244	4.9	238	79,535	△ 4,621	△ 5.8
大多喜町	3,502	17,247	8,425	8,822	4.9	132	18,379	△ 1,132	△ 6.2
太東町	1,395	7,078	3,324	3,754	5.1	252	7,558	△ 480	△ 6.4
夷隅町	2,077	10,709	5,170	5,539	5.2	241	11,297	△ 588	△ 5.2
御宿町	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370	9,753	△ 480	△ 4.9
大原町	5,005	23,926	11,280	12,646	4.8	357	25,579	△ 1,653	△ 6.5
長者町	1,411	6,681	3,158	3,523	4.7	355	6,969	△ 288	△ 4.1

郡内一の人口密度

(昭和35年)



行政



執行機関



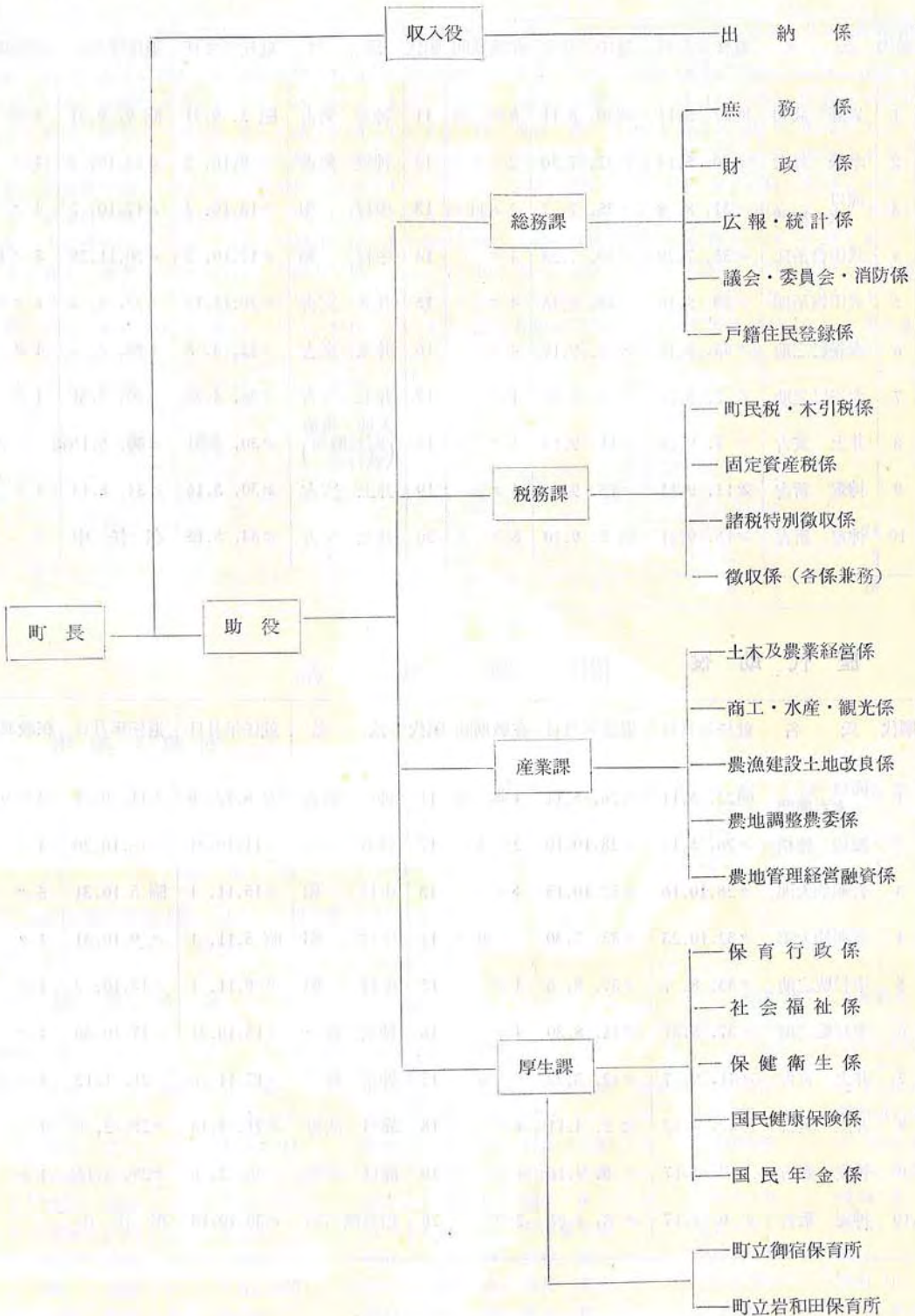
助役 相原誠三郎



収入係 佐藤 清司

行政機構

頁 四 分 野



歴 代 町 長

順代	氏 名	就任年月日	退任年月日	在職期間	順代	氏 名	就任年月日	退任年月日	在職期間
1	岩瀬 武司	明22. 5.11	明30. 5.11	8年 月	11	神定 新吉	昭 5. 9.21	昭 9. 9.21	4年 月
2	幸保 長七	〃 30. 5.14	〃 32. 7.30	2 〃 2 〃	12	神定 新吉	〃 9.10. 3	〃 13.10. 2	4 〃
3	滝口 水右衛門	〃 32. 8. 8	〃 35. 7. 7	2 〃 11 〃	13	中村 和	〃 13.10. 3	〃 17.10. 2	4 〃
4	式田啓治郎	〃 35. 7.29	〃 39. 7.28	4 〃	14	中村 和	〃 17.10. 3	〃 20.11.28	3 〃 1 〃
5	式田啓治郎	〃 39. 8.16	〃 43. 8.15	4 〃	15	井上 文吉	〃 20.12.12	〃 22. 4. 4	1 〃 5 〃
6	大谷巳之助	〃 43. 8.18	大 3. 8.17	4 〃	16	井上 文吉	〃 22. 4. 5	〃 26. 4. 4	4 〃
7	大谷巳之助	大 3. 8.25	〃 7. 8.24	4 〃	17	井上 文吉	〃 26. 4.23	〃 30. 3.31	4 〃
8	井上 寅吉	〃 7. 9.14	〃 11. 9.13	4 〃	18	大地 重直 (町長職務 執行者)	〃 30. 3.31	〃 30. 5.15	2 〃
9	神定 新吉	〃 11. 9.11	〃 15. 9.20	4 〃	19	井上 文吉	〃 30. 5.16	〃 34. 5.14	4 〃
10	神定 新吉	〃 15. 9.21	昭 5. 9.20	5 〃	20	井上 文吉	〃 34. 5.15	在 任 中	

歴 代 助 役

順代	氏 名	就任年月日	退任年月日	在職期間	順代	氏 名	就任年月日	退任年月日	在職期間
1	滝口 水右衛門	明22. 5.11	明26. 5.11	4年 月	11	神定 新吉	大 8.12. 8	大11. 9.21	2年 9月
2	渡辺 徳松	〃 26. 5.12	〃 28.10.10	2 〃 5 〃	12	鈴木 本吉	〃 11.10.21	〃 15.10.20	4 〃
3	岩瀬仙太郎	〃 28.10.16	〃 32.10.15	4 〃	13	中村 和	〃 15.11. 1	昭 5.10.31	5 〃
4	岩瀬仙太郎	〃 32.10.23	〃 33. 7.30	9 〃	14	中村 和	昭 5.11. 1	〃 9.10.31	4 〃
5	中村藍之助	〃 33. 8. 7	〃 37. 8. 6	4 〃	15	中村 和	〃 9.11. 1	〃 13.10. 2	4 〃
6	中村藍之助	〃 37. 8.31	〃 41. 8.30	4 〃	16	神定 喜一	〃 13.10.31	〃 17.10.30	4 〃
7	井上 寅吉	〃 41. 9. 7	〃 42. 3.22	6 〃	17	神定 喜一	〃 17.11 .6	〃 21. 1.12	3 〃 2 〃
8	井上 寅吉	〃 42. 4.12	大 2. 4.11	4 〃	18	滝口 武男	〃 21. 2.16	〃 25. 2. 5	4 〃
9	神定 新吉	大 2. 4.17	〃 6. 4.16	4 〃	19	滝口 武男	〃 25. 2. 6	〃 29. 2.15	4 〃
10	神定 新吉	〃 6. 4.17	〃 8. 4.25	2 〃	20	相原誠三郎	〃 30.10.18	在 任 中	

歴代収入役

順代	氏名	就任年月日	退任年月日	在職期間	順代	氏名	就任年月日	退任年月日	在職期間
1	山田 広吉	明22. 6. 8	明23. 9. 6	1年3月	13	鈴木 本吉	大10. 4.19	大11.10.11	1年6月
2	鈴木 重助	〃23. 9. 6	〃26. 9. 4	3〃	14	鶴岡 徳藏	〃11.11.14	〃13. 6. 1	1〃6〃
3	鶴岡 岩吉	〃26. 9. 8	〃28. 5.16	1〃8〃	15	神定 喜一	〃13. 9. 6	昭 3. 9. 5	4〃
4	君塚清兵衛	〃28. 5.22	〃32. 5.21	4〃	16	神定 喜一	昭 3. 9. 6	〃 7. 9. 5	4〃
5	君塚清兵衛	〃32. 5.22	〃36. 5.22	4〃	17	神定 喜一	〃 7. 9. 6	〃11. 9. 5	4〃
6	君塚清兵衛	〃36. 5.23	〃38. 1.11	1〃8〃	18	木村 乙次	〃12. 1. 1	〃14. 3. 9	2〃2〃
7	市原勇治郎	〃38. 1.11	〃39.11.16	1〃10〃	19	滝口 武男	〃14. 4.30	〃18. 4.29	4〃
8	井上 栄吉	〃39.11.16	〃43.11.15	4〃	20	滝口 武男	〃18. 4.30	〃21. 2.15	2〃10〃
9	井上 栄吉	〃43.11.16	〃45. 2.15	1〃3〃	21	相原誠三郎	〃21. 2.16	〃25. 2.15	4〃
10	神定 新吉	大 1. 8.14	大 2. 4.16	8〃	22	相原誠三郎	〃25. 2.16	〃30.10.17	5〃8〃
11	鈴木 本吉	〃 2. 4.19	〃 6. 4.18	4〃	23	佐藤 清司	〃30.10.18	在任中	
12	鈴木 本吉	〃 6. 4.19	〃10. 4.18	4〃					

職員数

区分	収入役室	総務課	税務課	産業課	厚生課	計
男	1	6	5	6	6	24
女	-	1	1	-	-	2
計	1	7	6	6	6	26

議 決 機 関

町議会開催

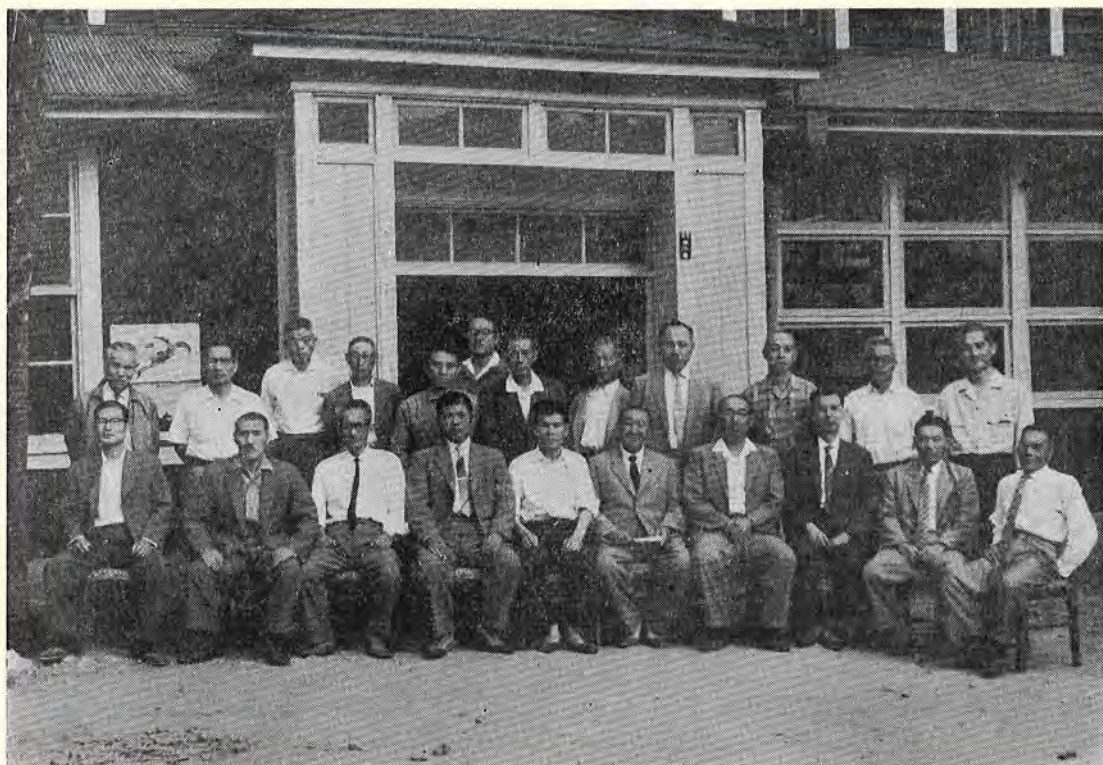
年次	種別	議会回数	議会日数	提出件数	議決件数
昭和35年	定例会	4回	4日	21件	21件
	臨時会	1	1	3	3

御宿町議会議員定数 22名 現在数 22名
 議長 新井 清治 副議長 岩崎栄一郎

議員名簿

昭和36年6月末現在

議席	氏名	住所	生年月日	議席	氏名	住所	生年月日
1	吉野 要	御宿町新町185	明45. 2.12	12	江沢富士松	御宿町岩和田925	大 2. 8.10
2	神定 長治	〃 高山田79	明30. 5.19	13	吉野 二一	〃 七本27	明34.12.28
3	松本 定一	〃 久保2,016	明34. 1. 9	14	市東 三郎	〃 岩和田889	大 5.12.28
4	岩瀬千代吉	〃 高山田1,493	明33. 8.31	15	式田 吉蔵	〃 浜295	明33. 8.21
5	渡辺 清治	〃 久保1,955	明41. 4. 7	16	藤江 真一	〃 六軒町425	明39. 8. 2
6	君塚久仁治	〃 実谷95	明27.10.23	17	君塚嘉兵衛	〃 須賀428	明38. 9.17
7	新井 清治	〃 上布施2,756	明32. 1. 1	18	中村 喜一	〃 久保2,139	大 4. 2. 5
8	関 竜雄	〃 久保2,004	明37. 1.23	19	石井 文夫	〃 六軒町277	明41.10. 6
9	浅野 航海	〃 浜571	明28.10.15	20	井上 利一	〃 新町517	大 6. 9.20
10	山本 稻直	〃 新町170	明34. 1.24	21	吉野 栄峯	〃 上布施2,029	明36. 4.17
11	君塚 安夫	〃 新町561	大 3. 1.29	22	岩崎栄一郎	〃 岩和田1,047	大12. 9.18



《議 会 議 員》

選 挙

選挙管理委員会

計	委 員 長	委 員	補 充 員	書 記
9	1	3	4	1

年次別選挙人名簿登録人員及投票所

年 次	総 人 口	登 録 人 員			投 票 所
		計	男	女	
昭和30 年	9,753	5,659	2,566	3,093	5
31	9,630	5,502	2,512	2,990	5
32	9,590	5,532	2,509	3,023	5
33	9,445	5,527	2,499	3,028	5
34	9,402	5,606	2,533	3,073	5
35	9,273	5,668	2,569	3,099	5

投票区別有権者数

昭和35年12月末現在

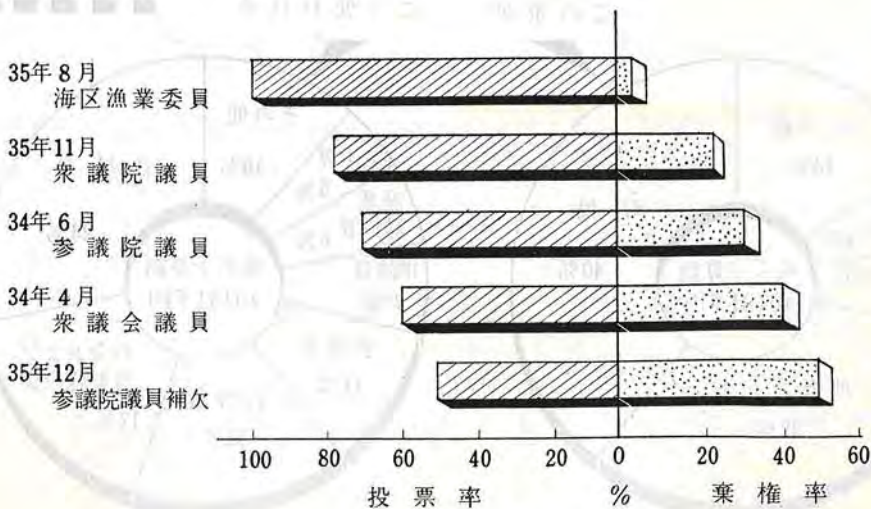
種 別	投 票 区 域	有 権 者 数		
		計	男	女
総 数		5,668	2,569	3,099
第一投票区	久保, 新町, 六軒町	1,909	867	1,042
第二投票区	須賀, 浜, 高山田	1,557	712	845
第三投票区	岩和田	1,143	504	639
第四投票区	上布施	593	279	314
第五投票区	実谷, 七本	466	207	259

各種選挙執行状況

種 別	執 行 年月日	当日有権者数			投 票 者 数			投 票 率		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
衆議院議員選挙	昭和33.5.22	5,511	2,498	3,013	4,422	2,032	2,390	80.21%	81.35%	79.32%
海区漁業調整委員選挙	33.8.8	969	555	414	873	497	376	90.09%	89.51%	90.82%
千葉県知事選挙	33.10.28	5,477	2,484	2,993	3,022	1,434	1,588	55.18%	57.73%	53.06%
千葉県議会議員選挙	34.4.23	5,441	2,456	2,985	3,153	1,550	1,603	57.95%	63.11%	53.70%
参議院(地方区)議員選挙	34.6.2	5,479	2,474	3,005	3,724	1,743	1,981	67.97%	70.45%	65.93%
参議院(全国)議員選挙	34.6.2	5,479	2,474	3,005	3,724	1,743	1,981	67.97%	70.45%	65.93%
海区漁業調整委員選挙	35.8.9	958	533	425	936	517	419	97.70%	97.00%	98.59%
衆議院議員選挙	35.11.20	5,663	2,559	3,104	4,413	1,983	2,430	77.93%	77.49%	78.29%
参議院(地方区補欠)議員選挙	35.12.1	5,698	2,574	3,124	2,765	1,261	1,504	48.53%	48.99%	48.14%

参政権は使われたか

—最近の選挙から投票率と棄権率の比較—



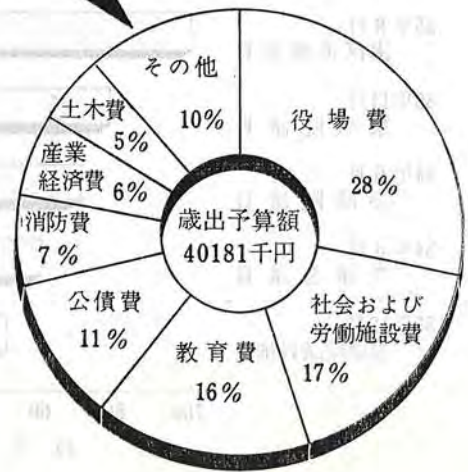
財 政



町 の 予 算 は (昭和36年度)



この金が こう使われる



昭和36年度予算款別内訳表

(単位 千円)

歳 入					歳 出				
区分	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	百分比	区分	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	百分比
款 別					款 別				
1. 町 税	15,856	14,773	1,083	39.5	1. 議 会 費	1,268	914	354	3.2
2. 地方交付税	13,000	11,387	1,613	32.4	2. 役 場 費	11,247	10,602	645	28.0
3. 財産収入	1,719	2,369	△ 650	4.3	3. 消 防 費	2,608	2,001	607	6.5
4. 分担金及負担金	970	950	20	2.4	4. 土 木 費	2,002	2,000	2	5.0
5. 使用料及手数料	2,314	1,918	396	5.8	5. 教 育 費	6,252	4,951	1,301	15.6
6. 国庫支出金	2,507	6,363	△ 3,856	6.2	6. 社会及労働施設	6,876	11,092	△ 4,216	17.1
7. 県 支 出 金	427	402	25	1.0	7. 保健衛生費	710	675	35	1.8
8. 寄 附 金	10	20	△ 10		8. 産業経済費	2,322	1,992	330	5.8
9. 繰 越 金	300	300		0.7	9. 財 産 費	335	328	7	0.8
10. 雑 収 入	3,078	647	2,431	7.7	10. 統計調査費	222	200	22	0.5
△ 町 債	0	2,000	△ 2,000		11. 選 挙 費	54	77	△ 23	0.1
					12. 公 債 費	4,247	3,652	595	10.6
					13. 諸 支 出 金	1,738	2,345	△ 607	4.3
					14. 予 備 費	300	300		0.7
合 計	40,181	41,129	△ 948	100.0	合 計	40,181	41,129	△ 948	100.0

国民健康保険

昭和36年度予算款別内訳表

(単位 円)

歳 入					歳 出				
款	本 年 度 予算額	前 年 度 予算額	比較増減	百分比	款	本 年 度 予算額	前 年 度 予算額	比較増減	百分比
1. 国民健康保 険税	4,920,000	4,294,000	626,000	48.3	1. 役 場 費	916,600	743,400	173,200	9.0
2. 使用料及手 数料	1,000	1,800	△ 800		2. 保険給付費	9,042,600	7,639,100	1,403,500	88.6
3. 国庫支出金	4,790,000	3,920,000	870,000	46.8	3. 公 債 費	30,000	10,000	20,000	0.3
4. 繰 越 金	500,000	387,000	113,000	4.9	4. 諸支出金	212,100	199,400	12,700	2.0
5. 雑 収 入	300	200	100		5. 予 備 費	10,000	10,000		0.1
					△ 財 産 費	0	100	△ 100	
					△ 保健施設費	0	1,000	△ 1,000	
計	10,211,300	8,603,000	1,608,300	100.0	計	10,211,300	8,603,000	1,608,300	100.0

決算額の累年比較 (一般会計)

年 度	歳 入	歳 出	差 引	摘 要
昭 和 30 年 度	40,762	33,841	6,921	
31	44,450	42,741	1,709	
32	49,569	49,405	164	
33	54,225	51,072	3,153	
34	68,807	66,643	2,164	

昭和34年度決算額

(単位 千円)

歳 入			歳 出		
款 項	収入済額	構成比	款 項	支出済額	構成比
歳 入 総 額	68,807	100%	歳 出 総 額	66,643	100%
1. 町 (村) 税	15,576	22.6	1. 議 会 費	1,164	1.7
2. 地 方 交 付 税	13,423	19.5	2. 役 場 費	10,165	15.2
3. 財 産 収 入	2,286	3.3	3. 消 防 費	2,780	4.2
4. 分 担 金 負 担 金	6,168	9.0	4. 土 木 費	3,909	5.9
5. 使 用 料 及 手 数 料	1,574	2.3	5. 教 育 費	12,717	19.1
6. 国 庫 支 出 金	10,183	14.8	6. 社 会 及 勞 働 施 設 費	10,836	16.3
7. 果 支 出 金	7,401	10.8	7. 保 健 衛 生 費	636	1.0
8. 寄 付 金	666	1.0	8. 産 業 経 済 費	18,046	27.1
9. 繰 入 金	0	0	9. 財 産 費	133	0.2
10. 繰 越 金	3,153	4.6	10. 統 計 調 査 費	202	0.3
11. 雑 収 入	577	0.8	11. 選 挙 費	237	0.3
12. 町 (村) 債	7,800	11.3	12. 公 債 費	3,029	4.5
			13. 諸 支 出 金 費	2,789	4.2
			14. 予 備 費	0	0

租 税

税収入額の累年比較

(単位 千円)

	調 定 額	徴 収 額	欠 損 額	徴 収 率
昭 和 30 年 度	16,905	13,210	0	78.1%
31	17,623	14,730	0	83.6
32	18,012	14,959	785	83.1
33	17,303	14,921	303	86.2
34	17,367	15,576	0	89.7

徴 税 状 況 (昭和34年度)

(単位 千円)

税 種 別	調 定 額	徴 収 額	欠 損 額	徴 収 率
總 額	17,367	15,576	0	89.7%
町 民 税	3,517	3,301	0	93.9
固 定 資 産 税	9,925	8,419	0	84.8
経 常 消 費 税	156	138	0	88.5
ば ば 消 費 税	2,456	2,456	0	100.0
電 気 料 取 引 税	1,192	1,192	0	100.0
木 材 引 取 税	44	44	0	100.0
そ の 他	0	0	0	0
旧 法 による 税 収 入	77	26	0	33.8

町民負担の状況

年度	区分	町税総額	一世帯当り負担額	一人当り負担額	備考
昭和30年度		13,618,000	6,753	1,396	滞納繰越分を除きタバコ、電気ガス税等を含む // // // // 36年2月末日現在の調定額とする
昭和31年度		14,262,000	7,053	1,452	
昭和32年度		15,119,000	7,477	1,550	
昭和33年度		15,040,000	7,438	1,542	
昭和34年度		14,883,000	7,311	1,526	
昭和35年度		15,166,000	7,408	1,635	
備考		人口 9,273	世帯 2,047		

昭和35年度予算執行状況

歳入 (昭和36年2月28日現在)

区分	科目	予算現計額	調定額	収入済額	収入未済額	調定額に対する収入割合	予算総額に対する割合
1. 町	税	16,628,100	17,067,989	12,987,008	4,080,981	76%	18.9%
2. 地方	交付税	16,164,100	15,624,000	15,624,000	0	100	18.4
3. 財産	収入	2,369,000	880,236	567,114	313,122	65	2.7
4. 分担金	及負担金	6,853,000	3,112,786	3,023,316	89,470	97	7.8
5. 使用料	及手数料	1,918,000	1,912,750	1,698,400	214,350	88	2.2
6. 国庫	支出金	21,921,200	8,785,149	8,785,149	0	100	24.9
7. 県	支出金	8,419,000	374,330	374,330	0	100	9.6
8. 寄付	金	702,000	369,000	369,000	0	100	0.8
9. 繰越	金	2,164,000	2,164,654	2,164,654	0	100	2.5
10. 雑	収入	740,500	664,440	664,440	0	100	0.8
11. 町	債	10,000,000	0	0	0	0	11.4
合	計	87,878,900	50,955,334	46,257,411	4,697,923	90	100.0

歳出 (昭和36年2月28日現在)

区分	科目	予算現計額	支出済額	予算残額	予算総額に対する割合	予算額に対する支出の割合
1. 議	会費	1,019,000	717,205	301,795	1.2%	70
2. 役	場費	11,272,000	9,773,768	1,498,232	12.8	87
3. 消	防費	2,368,000	1,385,954	982,046	2.7	59
4. 土	木費	6,510,000	3,884,005	2,625,995	7.4	60
5. 教	育費	17,654,400	4,425,750	13,228,650	20.1	25
6. 社会	及労働施設費	11,669,127	8,996,638	2,672,489	13.3	77
7. 保	健衛生費	791,300	591,090	200,210	0.9	75
8. 産	業経済費	28,148,600	17,124,093	11,024,507	32.0	61
9. 財	産費	358,000	129,766	228,234	0.4	36
10. 統	計調査費	400,500	358,286	42,214	0.5	89
11. 選	挙費	326,000	214,097	111,903	0.4	66
12. 公	債費	3,652,000	2,732,892	919,108	4.1	75
13. 諸	支出金	3,438,600	1,855,432	1,583,168	3.9	54
14. 予	備費	271,373		271,373	0.3	0
合	計	87,878,900	52,188,976	35,689,924	100.0	59

町 債 現 債 高

昭和36年4月1日現在 (単位：千円)

借入先別 目的別	資金運用部	簡易保険局	計
教 育 債	8,900	3,846	12,746
土 木 債	2,085	3,436	5,521
社会及び労働施設債	187	8,536	8,723
産 業 経 済 債	7,644	1,547	9,191
災 害 復 旧 債	1,919	0	1,919
合 計	20,735	17,365	38,100

昭和35年度計画事業

単位：千円

区 分 事業名	事業費	財 源 内 訳			事 業 内 容	
		国 支 出 金	其 他 特 定 財 源	一 般 財 源		
1. 補 助 事 業	39,183	18,504	15,063	5,616	{ 第1種住宅(1戸10.5坪)10戸建設 { 第2種住宅(1戸8.5坪)10戸建設 防波堤延長 港内堀削及物揚場 防波堤嵩上工事 巾着 3.6m 延長 545m 貯水量 102立方米 鉄筋コンクリート二階建 延 193坪	
町営住宅建設事業	7,586	4,357	2,000	1,229		
御宿漁港修築事業	8,000	4,800	2,400	800		
岩和田漁港局部改良事業	8,940	4,768	4,087	85		
岩和田漁港整備事業	1,000	200	800	0		
太子坂林道開設事業	950	279	434	237		
高山田貯水池設置事業	442	100	342	0		
御宿中学校増築事業	12,265	4,000	5,000	3,265		
2. 災 害 復 旧 事 業	4,347	3,000	1,183	164		防波堤復旧工事 防波堤復旧工事 護岸工事
御宿漁港災害復旧事業	453	329	70	54		
岩和田漁港災害復旧事業	764	583	113	68		
清水川災害復旧事業	3,130	2,088	1,000	42		
3. 単 独 事 業	970	0	0	970	スクールバス購入 { 須賀, 新町, 六軒町 各1ヶ所 { 計3ヶ所設置	
バス購入事業	680	0	0	680		
貯水池設置事業	290	0	0	290		
合 計	44,500	21,504	16,246	6,750		

町 有 財 産

昭和36年4月1日現在

区 分		数 量	区 分		数 量		
行 政 財 産	土 地	宅 地	1,274坪	行 政 財 産	建 物	公 民 館	47坪
		畑	35反718歩			警 察 庁 舎 (2棟)	51〃
		山林, 原野	1,019反422〃			火 葬 場	27〃
		雑 種 地	225反601〃			学 校 々 舎 (15棟)	1,707〃
		学校, 役場敷地	5,385坪			町営住宅(第1種)	(60戸) 630〃
	建 物	役場庁舎	105坪		町営住宅(第2種)	(60戸) 510〃	
		保育園舎(3棟)	215〃		消防団本部詰所	15〃	
		隔離病舎(2棟)	50〃		財 産	基本財産積立金	309,607円
		登記所庁舎(2棟)	47〃			千葉県漁業信用基金 協会出資証券	150,000〃

農 業



本町の耕地面積は全面積の約20%に当る 481 町歩である。

農家一戸当りの面積は田 5 反 2 畝，畑 1 反 2 畝と少なく，開墾予定地もない。加えて耕地を，山林あるいは，宅地に転用する傾向があるため耕地面積の増加は考えられず，農作物の増収は現耕地の改良，二毛作等により計らなければならない。

農家を広狭別にみると，農家総数 965 世帯中，経営耕地面積 1 反未満が 236 世帯で全体の 24%，1 反～3 反未満が 220 世帯で 23%，3 反～5 反未満が 122 世帯で 13%，5 反～1 町未満が 204 世帯で 21%，1 町以上の農家が 183 世帯で 19% となっており，本町農業がいかにか小規模であるかがわかる。

したがって専業農家は全体のわずか 27% で，他の 73% は農業以外の産業をかねている。

近來特に目立つことは農機具の普及で耕耘機に例をとってみても，昭和 31 年の 5 台から，現在 94 台と増加している。

これら農機具をフルに活用出来る近代的農業経営に移る 1 つの転期を本町農業も迎えてつとあるといえよう。

農 業 委 員

会 長 松 本 鼎

副会長 君 塚 久 仁 治

住 所	氏 名	住 所	氏 名
須 賀	君 塚 為 治	実 谷 下	白 鳥 満
浜 田	式 田 吉 藏	新 久 井	佐 藤 俊 夫
高 山 田	神 定 長 治	小 幡 山	吉 野 文 治
久 保 町	白 鳥 毅	立 山	吉 田 初 雄
新 六 軒 町	鈴 木 春 五 郎	新 宿 田	高 橋 丑 造
岩 和 田	杉 田 健 造	高 山 田	鈴 木 定 雄
七 本	島 村 文 吉	久 保 本	松 本 鼎
実 谷 上	吉 田 健 司	七 本 下	吉 野 紋 兵 衛
実 谷 中	吉 野 貞 二 也	新 久 井	君 塚 久 仁 治
			新 井 清 治

昭和36年6月末現在

農家経営の変せん

	昭和30年	31 年	32 年	33 年	34 年	35 年
農 家 数 (戸)	994	991	1,028	1,010	1,006	965
農 業 従 事 者 数 (人)	1,723	1,720	2,144	2,041	2,021	2,001
経 営 耕 地 面 積 (反)	4,939	4,928	4,951	4,916	4,869	4,813

農 家 人 口

31 年			34 年		
総 数	男	女	総 数	男	女
5,482人	2,590人	2,892人	5,460人	2,552人	2,908人

經營耕地規模別農家

	總 數	1反未滿	1反~3反	3反~5反	5反~1町	1町~1.5町	1.5町~2町
昭和 31 年	999	227	242	136	226	153	15
32 年	1,028	246	248	138	229	151	16
33 年	1,010	243	246	122	227	158	14
34 年	1,006	249	238	128	216	158	17
35 年	965	236	220	122	204	162	21

自小作別農家と割合

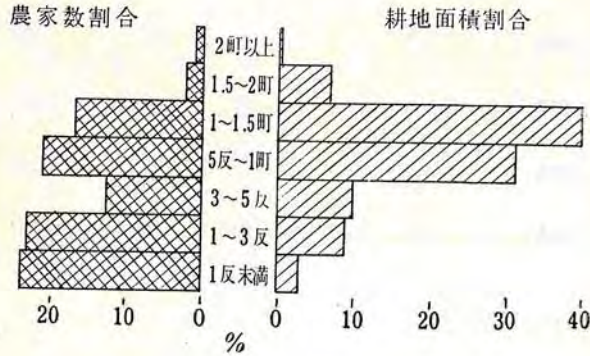
	總 數		自 作		自作兼小作		小作兼自作		小 作	
	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積
昭和 32 年	1,028	4,951	698	3,289	203	1,391	59	206	68	65
34 年	1,006	4,869	706	3,332	185	1,278	52	198	63	61

広狭別專業兼業別農家数

	昭 和 31 年				昭 和 34 年			
	計	專 業	第一種兼業	第二種兼業	計	專 業	第一種兼業	第二種兼業
總 數	999	274	203	522	1,010	237	250	523
1反未滿	227	15	1	211	243	12	2	229
1反~3反	242	17	25	200	246	19	23	204
3反~5反	136	20	30	86	122	17	44	61
5反~1町	226	111	90	25	227	86	113	28
1町~1.5町	153	98	55	-	158	93	64	1
1.5町~2町	15	13	2	-	14	10	4	-
2町~3町	-	-	-	-	-	-	-	-

多い1町歩くらいの経営

—耕地の広狭別農家数と経営面積の割合—



耕地の広狭別経営面積

昭和36年2月1日調査

	農家数 戸	耕 地 面 積				
		総 数 町反畝歩	田		畑	
			農家数 戸	面 積 町反畝歩	農家数 戸	面 積 町反畝歩
総 数	965	481.3.2.00	704	363.8.7.20	915	117.4.4.10
1反未満	236	13.7.0.14	35	1.8.6.02	221	11.8.4.12
1反~3反	220	41.5.0.19	160	22.9.2.02	196	18.5.8.17
3反~5反	122	47.6.7.13	122	35.9.3.20	115	11.7.3.23
5反~1町	204	151.6.8.08	204	119.7.1.18	202	31.9.6.20
1町~1.5町	162	192.1.6.21	162	154.6.9.29	160	37.4.6.22
1.5町~2町	20	32.5.8.10	20	26.9.5.25	20	5.6.2.15
2町~3町	1	2.0.0.05	1	1.7.8.14	1	2.1.2.1

地区別耕地の経営面積

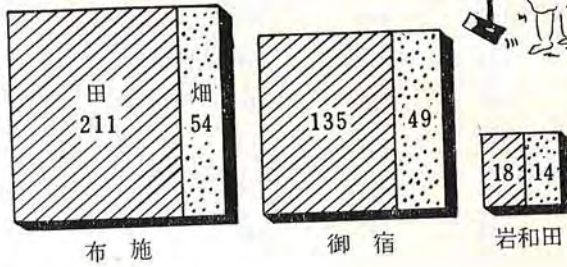
昭和36年2月1日調査

	農家数 戸	耕 地 面 積				
		総 数 町反畝歩	田		畑	
			農家数 戸	面 積 町反畝歩	農家数 戸	面 積 町反畝歩
総 数	965	481.3.2.00	704	363.8.7.20	915	117.4.4.10
御宿地区	505	183.9.1.24	314	134.6.7.10	476	49.2.4.14
布施 //	290	265.0.9.24	281	210.6.3.22	284	54.4.6.02
岩和田 //	170	32.3.0.12	109	18.5.6.18	155	13.7.3.24

耕地はどのくらいあるか

—地区別耕地の経営面積—

(昭和36.2.1 単位町)



年次別肥料購入量

	昭和31年	32年	33年	34年	35年
購入農家数 (戸)	962	962	902	822	854
購入総数量 (kg)	308,545	355,380	372,900	402,623	411,919

肥料購入状況

昭和36年2月1日現在

	購入農家数	購入総数量	購入先別				
			農協		業者		
			農家数	購入数量	農家数	購入数量	
無機質肥料	戸	kg	戸	kg	戸	kg	
総数(無機質)	854	403,983	679	361,318	235	42,665	
硫安	729	73,038	617	67,897	113	5,141	
尿素	268	14,193	229	11,895	40	2,298	
塩安	18	1,805	15	1,300	3	505	
石灰窒素	535	44,673	453	41,152	82	3,521	
過磷酸石灰	518	78,292	468	75,122	50	3,170	
溶成磷肥	134	16,776	122	14,953	12	1,823	
硫酸加里	55	3,085	40	2,514	16	571	
塩化加里	397	32,504	345	30,057	53	2,447	
複合肥料	{ 化成 配合	353	93,170	331	84,479	33	8,691
		383	32,182	217	21,075	168	11,107
その他の肥料	90	14,265	61	10,874	29	3,391	
有機質肥料	57	7,936	24	3,526	33	4,410	

○購入農家計は実数

年次別農機具所有台数

個人+共有

	電動機	発動機	動脱穀機	動力機	動力機	動力機	動力機	動力機	動力機
昭和30年	67	129	165	82	5	6	2	-	-
31	74	152	183	109	5	93	36	5	5
32	80	173	232	109	21	127	45	9	9
33	73	197	257	116	32	146	46	6	6
34	82	221	288	113	45	153	66	12	12
35	90	240	314	114	61	153	66	12	12
36	116	253	337	130	94	153	66	13	13

農作物の収穫及び販売状況

昭和35年度産

	取 穫 農家数	取 穫 面積	取 穫 量	販 売 量		
				農家数	販売数量	
米	水 稲	704	338.5.1.00	1,293,729	427	562,521
		48	1.1.1.15	2,266	-	-
麦	大 麦	742	62.2.6.23	157,984	59	13,915
		551	22.5.1.00	50,531	26	2,336
		24	1.3.9.25	2,401	4	350
雑 穀	とうもろこし	34	1.6.8.26	383	-	-
		287		12,972	2	100
	大 豆	541	35.4.4.19	36,063	98	7,470
		31		1,047	-	-
		479		6.7.2.27	7,334	1
豆 類	さ ぎ	411	5.6.0.06	5,265	4	120
	えんどう (未成熟)	331	3.1.4.09	6,890	16	1,497
	そらまめ (未成熟)	170	9.0.08	2,929	1	20
い も	甘 藷	787	27.8.0.20	489,720	39	14,350
	馬 鈴 薯	580	4.6.2.01	49,141	1	75
洋 菜 類	レ タ ス	-	-	-	-	-
	ピ マ ン	6	108	28	-	-
	パ セ リ	-	-	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-

農作物の収穫及び販売状況…(続)

第五号農産物産出表

	取 穫 農 家 数	取 穫 面 積	取 穫 量	販 売 量			
				農 家 数	販 売 数 量		
	戸	町反畝歩	kg	戸	kg		
野 菜	な す	502	1.7.9.25	17,966	6	235	
	ト マ ト	107	3.9.07	3,676	6	890	
	き う り	418	1.2.5.19	14,077	6	670	
	か ほ ち や	251	7.0.09	6,389	-	-	
	す い か	39	1.6.29	2,391	1	900	
	大 根	582	3.5.7.03	57,810	12	760	
	か ぶ	173	4.5.24	7,429	-	-	
	ご ほ う	342	8.5.18	8,406	6	120	
	に ん じ ん	378	9.3.05	8,332	7	140	
	し よ う が	182	3.7.27	2,419	5	65	
類	ほ う れ ん そ う	341	7.6.08	5,142	3	30	
	た ま ね ぎ	478	1.5.6.25	14,657	1	15	
	さ と い も	417	2.2.6.26	22,168	1	45	
	ね ぎ	472	1.3.0.02	13,187	3	85	
	結 球 白 菜	304	1.7.7.20	24,291	15	1,800	
	キ ヤ ベ ツ	253	1.8.8.17	20,082	24	1,045	
	そ の 他 の 野 菜	185	1.0.9.03	
	工 業 作 物	な た ね	85	1.9.3.20	2,762	12	445
		た ば こ	23	2.4.5.00	4,670	23	4,670
		落 花 生	415	9.4.0.21	19,854	16	871
そ の 他 の 工 業 作 物		48	1.2.10	
飼 料 作 物	牧 草	3	1.0.00	3,300	-	-	
	青 刈 と う も ろ こ し	11	5.1.00	53,825	-	-	
	青 刈 麦 類	7	1.8.00	6,735	-	-	
	飼 料 用 か ぶ	9	2.4.00	14,720	-	-	
	そ の 他 の 飼 料 作 物	4	9.20	4,350	-	-	
果 樹 類	な し	-	-	-	-	-	
	び わ	1	2.00	350	-	-	
	温 州 み か ん	-	-	-	-	-	
	夏 み か ん	1	2.00	600	1	600	

○米1俵60kg, 大麦1俵52.5kg, 小麦1俵60kg, 1貫=3.75kg

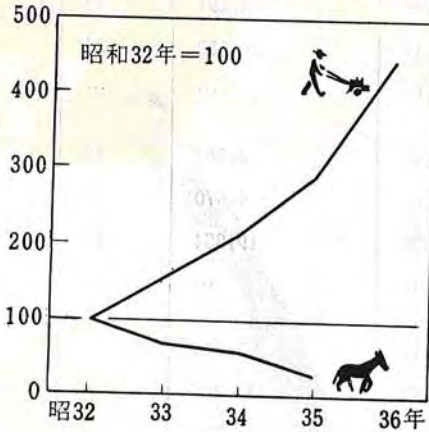
主要作物の累年比較

	水 稲			大 麦			甘 藷		
	作付面積	収 穫 高	反 当 り	作付面積	収 穫 高	反 当 り	作付面積	収 穫 高	反 当 り
昭和31年	反 3,393	kg 1,233,225	kg 363	反 817	kg 196,749	kg 241	反 334	kg 444,551	kg 1,331
32	3,381	1,126,965	333	737	179,156	243	308	404,775	1,314
33	3,383	1,326,000	392	702	151,054	215	288	373,687	1,557
34	3,369	1,276,834	379	606	137,034	226	240	339,220	1,413
35	3,385	1,293,729	382	623	157,984	254	278	489,720	1,762

注：昭和34年はセンサスによる1反以上の農家，31年，32年，33年，35年は県農業調査による2畝歩以上の農家

馬にかわる耕うん機

一動力耕うん機の所有台数と馬の飼育頭数一



家 畜

	乳 用 牛	役 肉 用 牛	馬	め ん 羊	山 羊	豚	に わ と り
昭和31年	頭 45	頭 248	頭 26	頭 -	頭 66	頭 108	羽 2,726
32	33	238	31	-	26	111	2,685
33	50	237	22	-	17	135	3,258
34	45	247	18	-	20	184	3,592
35	65	217	9	-	24	100	4,985

水産業



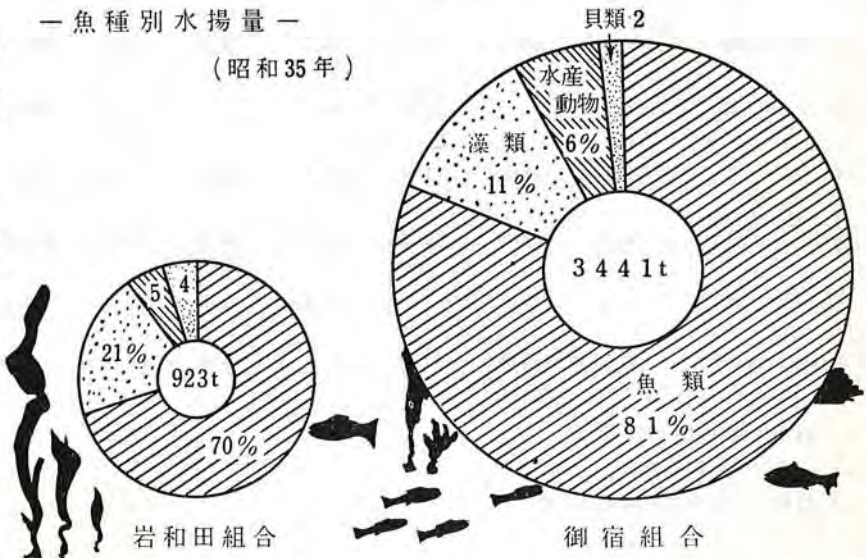
漁業は町の重要な産業の1つで、漁場を近くに控え、各種の漁業が古くから発達し、現在全世帯の15%に当る約300世帯がこれに従事している。

しかし専業は少なく86%が主として農業との兼業である。

漁業の種別もいろいろと多く、大別して、あぐり網漁業、延縄漁業、一本釣漁業、採貝漁業、えび網漁業、その他の漁業に別けられるが、あぐり網を除くと他は1人～5人程度の従事者で操業する小規模のものである。

海の幸

— 魚種別水揚量 —
(昭和35年)



漁 船 隻 数

年 次	総 数	無動力船	動 力 船						
			総 数	3 トン未満	3 ～ 5 トン	5 ～ 10 トン	10 ～ 20 トン	20 ～ 30 トン	30 ～ 50 トン
31	220	143	77	54	2	6	9	6	-
32	204	135	69	49	3	3	8	6	-
33	222	151	71	50	5	2	8	6	-

漁 業 別 水 揚 量

単位 トン

種 別	33 年			34 年			35 年		
	計	岩和田	御宿	計	岩和田	御宿	計	岩和田	御宿
総 計	5,469.4	1,455.7	4,013.7	4,431.1	1,208.4	3,222.7	4,364.7	923.3	3,441.4
2 そうまきあぐり巾着網	3,564.2	-	3,564.2	2,789.1	-	2,789.1	2,375.3	-	2,375.3
刺 網	36.7	31.7	5.0	82.5	53.2	29.3	64.3	48.5	15.8
さ ば 釣	1,315.9	1,034.3	281.6	1,022.6	785.1	237.5	714.0	475.7	238.3
い か 釣	13.9	4.2	9.7	33.2	3.1	30.1	242.5	40.4	202.1
その他の釣	98.7	84.9	13.8	129.3	97.1	32.2	53.4	49.6	3.8
その他の延縄	140.2	69.3	70.9	64.7	29.3	35.4	189.8	104.7	85.1
地 び き 網	26.2	-	26.2	43.9	-	43.9	69.5	-	69.5
採 貝	152.8	141.8	11.0	198.5	186.5	12.0	225.3	163.0	62.3
採 藻	89.8	58.5	31.3	29.5	16.3	13.2	429.3	40.2	389.1
突 棒	1.0	1.0	-	0.1	0.1	-	0.2	0.1	0.1
その他の漁業	30.0	30.0	-	37.7	37.7	-	1.1	1.1	-

○計の少数点以下は四捨五入

○1トン……266.6貫

○資料：千葉農林水産統計年報

魚種別水揚量

昭和35年

魚種別	組 合 別			魚種別	組 合 別		
	計	岩和田	御 宿		計	岩和田	御 宿
かたくちいわし	2,233,704 ^{kg}	- ^{kg}	2,233,704 ^{kg}	あ わ び	47,689 ^{kg}	37,892 ^{kg}	9,797 ^{kg}
ま あ じ	129,589	3,609	125,980	さ さ え	203,393	154,456	48,937
ま さ ば	719,220	477,487	241,733	貝 類 小 計	251,082	192,348	58,734
ふ り	20,257	16,680	3,577	す る め い か	241,286	39,317	201,969
ひ ら ま さ	4,795	3,757	1,038	た こ	1,351	1,339	12
か ん ば ち	230	230	-	い せ え び	5,727	3,981	1,746
い な だ	77,147	283	76,864	か さ み 類	561	561	-
か つ お	5,222	1,888	3,334	水産動物小計	248,925	45,198	203,727
め じ	781	464	317	わ か め	9,054	2,299	6,755
ま か じ き	659	637	22	て ん ぐ さ	37,893	1,857	36,036
ひ ら め	8,112	4,885	3,227	他 の 寒 天 原 藻	151,960	25,852	126,108
さ め	16,294	5,635	10,659	ひ じ き	6,421	-	6,421
い し も ち	3,705	3,658	47	か じ め	13,963	-	13,963
ま だ い	30,317	26,612	3,705	他 の 藻 類	217,050	10,182	206,868
し い ら	1,363	1,363	-	藻 類 小 計	436,341	40,190	396,151
と び う お	6,183	577	5,606	合 計	4,364,700	923,277	3,441,423
す ず き	1,465	952	513				
め だ い	114,060	77,674	36,386				
さ よ り	14,730	14,730	-				
わ ら さ	13,698	-	13,698				
ほ う ぼ う	958	-	958				
あ か え い	762	-	762				
そ の 他 の 魚	25,101	4,420	20,681				
魚 類 小 計	3,428,352	645,541	2,782,811				

年次別・組合別水揚高

(単位：千円)

		魚 類	貝 類	藻 類	そ の 他	計
31 年	岩 和 田	42,600	12,627	4,563	1,038	60,828
	御 宿	13,025	1,604	480	1,390	16,499
	計	55,625	14,231	5,043	2,428	77,327
32 年	岩 和 田	50,000	17,735	4,434	1,660	73,829
	御 宿	12,591	1,569	162	1,345	15,667
	計	62,591	19,304	4,596	3,005	89,496
33 年	岩 和 田	54,701	28,785	5,684	1,693	90,863
	御 宿	17,210	3,868	183	1,949	23,210
	計	71,911	32,653	5,867	3,642	114,073
34 年	岩 和 田	54,911	31,508	3,496	1,984	91,899
	御 宿	16,510	1,587	141	4,506	22,744
	計	71,421	33,095	3,637	6,490	114,643
35 年	岩 和 田	46,726	41,411	5,619	2,624	96,380
	御 宿	19,724	7,163	186	2,553	29,626
	計	66,450	48,574	5,805	5,177	126,006

○その他とは水産動物のいか、たこ、いせえびである。

昭和33年沿岸漁業調査からみた漁業

この調査で漁家とは、調査期日前1年間に、漁船を所有し、漁獲物を販売することを目的として、次の海面漁業（大型定置網、地びき網漁業を除く）を営んだ世帯である。

- イ 使用する漁船が無動力船のみの海面漁業
- ロ 使用する動力船の総トン数が、3トンに満たない規模の海面漁業

○漁業企業体

漁業企業体とは、調査期日前1年間に、海面漁業を営んだ次の事業所である。

- イ 個人の事業所（合計トン数が3トン及びこれをこえる規模の個人世帯ならびに大型定置網漁業、又は、地びき網漁業を営んだ個人世帯）
- ロ 漁業協同組合直営の事業所
- ハ 漁業生産組合の事業所
- ニ 会社の事業所
- ホ 共同経営体の事業所
- ヘ 官公庁、学校、試験場

1. 組織別経営体数

漁業組合別	総数	漁家	企 業 体				
			総数	個 人 体	漁業協同 組合直営	漁業生産 組合経営	個人共営
総 数	180	170	10	6	1	1	2
岩 和 田	126	122	4	2	1	-	1
御 宿	54	48	6	4	-	1	1

2. 漁業制度別操業経営体数（延）

漁業組合別	共 同 漁 業 権			大臣許可	自由漁業
	第一種	第二種	第三種		
総 数	138	21	2	3	57
岩 和 田	109	21	-	-	34
御 宿	29	-	2	3	23

3. 主とする漁業種類別経営体数

漁業組合別	総数	2そうま きあぐり 巾着網	刺網漁業	釣 漁 業		延縄漁業	地びき 網船 びき網	その他の漁業		
				さば釣	その他 釣			採 貝	採 藻	その他
総 数	180	3	50	35	8	3	2	76	1	2
岩 和 田	126	-	26	21	4	-	-	72	1	2
御 宿	54	3	24	14	4	3	2	4	-	-

4. 世 帯 員 数

漁業組合別	総世帯員数			13 歳 以 下			14 歳 以 上			自営漁業 に従事 する世 帯員数
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
総 数	982	481	501	327	152	175	655	329	326	348
岩 和 田	658	321	337	217	104	113	441	217	224	258
御 宿	324	160	164	110	48	62	214	112	102	90

5. 階層別経営体数

漁業組合別	総数	漁 船 漁 業								地びき網
		無動力	動 力							
			3トン未満	3～5トン	5～10トン	10～30トン	30～100トン	100～200トン	200トン以上	
総数	180	120	50	2	3	-	2	1	-	2
岩和田	126	99	23	1	3	-	-	-	-	-
御宿	54	21	27	1	-	-	2	1	-	2

6. 漁撈作業従事者数別経営体数

漁業組合別	総数	1人	2・3人	4・5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	漁撈作業従事者数
総数	180	42	101	23	6	4	-	-	4	735
岩和田	126	26	74	18	5	3	-	-	-	327
御宿	54	16	27	5	1	1	-	-	4	408

7. 漁 獲 高

漁業組合別	総 数		漁 家		個人企業体		団体経営体	
	漁獲数量	金 額	漁獲数量	金 額	漁獲数量	金 額	漁獲数量	金 額
	トン	千円	トン	千円	トン	千円	トン	千円
総数	5,831	150,927	1,545	76,691	2,884	45,897	1,402	28,339
岩和田	1,173	72,638	992	55,799	136	7,173	45	9,666
御宿	4,658	78,289	553	20,892	2,748	38,724	1,357	18,673

32年11月～33年11月

8. 漁船トン数別隻数

漁業組合別	総数	無動力船	動力船											動力船 総トン数
			総数	3トン未満	3～5トン	5～10トン	10～20トン	20～30トン	30～50トン	50～100トン	100～200トン	200トン以上		
総数	204	135	69	49	3	3	8	6	-	-	-	-	406	
岩和田	140	112	28	24	2	2	-	-	-	-	-	-	76	
御宿	64	23	41	25	1	1	8	6	-	-	-	-	330	

9. 出漁日数別及び漁業協同組合への出荷率別経営体数

漁業組合別	総数	出漁日数別				漁業協同組合への出荷率別				
		30日未満	30～90日	100～199日	200日以上	全く出荷しない	25%未満	25～50%	50～75%	75%以上
総数	180	1	97	57	25	5	2	-	-	173
岩和田	126	-	78	39	9	-	2	-	-	124
御宿	54	1	19	18	16	5	-	-	-	49

10. 漁業種類別漁撈体数

漁業組合別	総数	漁船漁業						定置網漁業	
		底びき網	まき網	刺網	釣延縄	地びき船びき	その他	大定置網	小定置網
総数	15	-	3	1	6	2	3	-	-
岩和田	8	-	-	-	5	-	3	-	-
御宿	7	-	3	1	1	2	-	-	-

11. 専業・兼業別世帯数

漁業組合別	総数	専業	兼業総数	第一種兼業				第二種兼業			
				総数	自営兼業のみ	自営兼業とやとわれ	やとわれのみ	総数	自営兼業のみ	自営兼業とやとわれ	やとわれのみ
総数	176	25	151	81	22	35	24	70	4	28	38
岩和田	124	15	109	67	14	31	22	42	1	24	17
御宿	52	10	42	14	8	4	2	28	3	4	21

12. 経営耕地面積別農業兼業世帯数

漁業組合別	総数	1畝未満	1～5畝	5畝～1反	1～3反	3～5反	5反～1町	1～3町	3町以上
総数	80	-	16	12	36	14	2	-	-
岩和田	64	-	10	9	32	12	1	-	-
御宿	16	-	6	3	4	2	1	-	-

13. 主とする収入源別漁家数

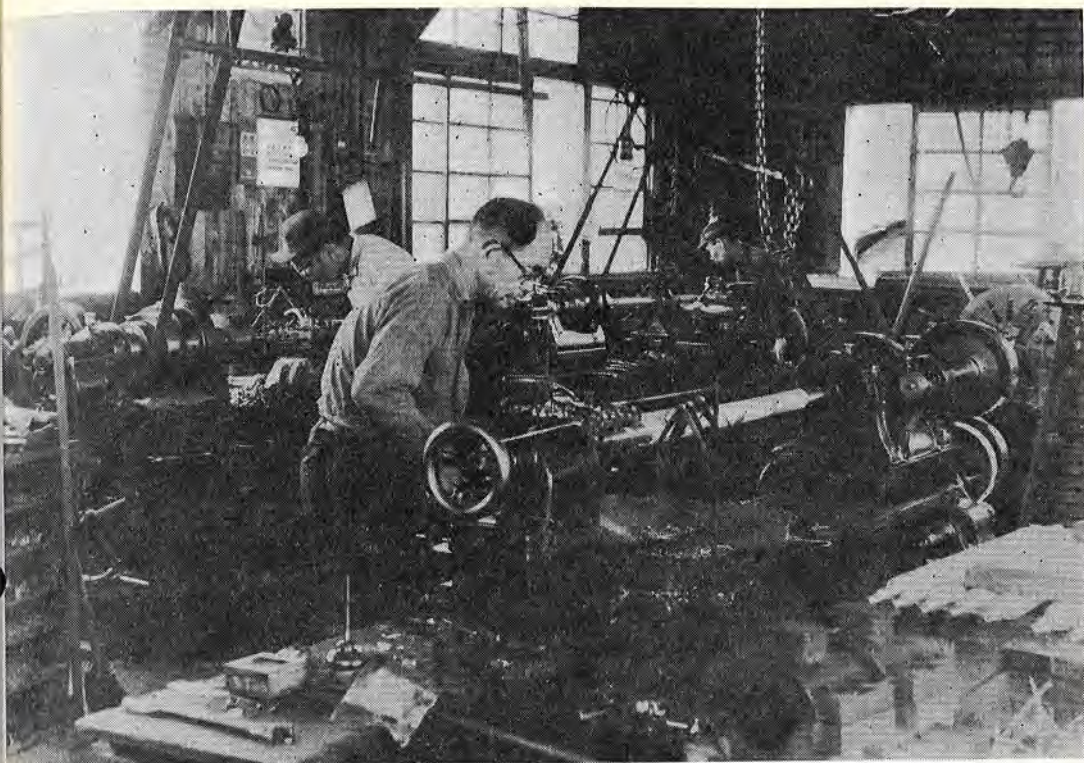
漁業組合別	総数	自営漁業	自営農業	その他の自営産業	内職行商及び職人	事務職員教員など	漁業やとわれ	漁業外やとわれ
総数	170	100	2	2	3	3	58	2
岩和田	122	80	1	-	2	1	38	-
御宿	48	20	1	2	1	2	20	2

14. 操業日数30日未満経営体数及び準漁家数

漁業組合別	操業30日未満			準漁家の漁業種類別							
	総数	漁家	個人企業体	総数	底びき網	刺網	釣延縄	採貝	採藻	その他の漁業	のり養殖
総数	-	-	-	125	-	-	-	-	125	-	-
岩和田	-	-	-	113	-	-	-	-	113	-	-
御宿	-	-	-	12	-	-	-	-	12	-	-

注：準漁家とは、調査期日前1年間に漁船を所有しないで、漁獲物を販売することを目的として、海面漁業を営んだ世帯である。

事業所



昭和35年の調査による本町の事業所(国営、公社、農林水産業を除く)の総数は433で、これらの事業所に働く従業者数は1,348人、このうち常雇の従業者は511人である。これを昭和32年調査とくらべると事業所数で17、従業者数で116人増加している。

事業所数を産業別にみると、卸売、小売業45%、サービス業26%、製造業14%、建設業12%の順で、経営組織別では従業者の大半が業主と家族である個人経営の事業所が全体の86%を占め、法人組織のものが12%、その他2%となっており、全般的に小規模の事業所が多く、一事業所当りの従業者数は3.1人となっている。

おもな事業所と従業者

(昭和35年7月1日)

従業者数

事業所数



卸売業
小売業



196



サービス業




111



製造業



61

 = 20人

 建設業



50

事業所および従業者数

昭和35年7月1日調査

産 業 分 類	総 数			組 織 別								
	事業 所数	従業 者数	常雇 者数	個 人			法 人			公 營		
				事業 所数	従業 者数	常雇 者数	事業 所数	従業 者数	常雇 者数	事業 所数	従業 者数	常雇 者数
総 数	433	1,348	511	372	849	98	51	384	298	10	115	115
E 建 設 業	50	88	15	48	76	8	2	12	7	-	-	-
15 総 合 工 事 業	3	18	7	1	6	-	2	12	7	-	-	-
16 職 別 工 事 業	44	63	5	44	63	5	-	-	-	-	-	-
17 設 備 工 事 業	3	7	3	3	7	3	-	-	-	-	-	-
F 製 造 業	61	383	200	48	184	21	13	199	179	-	-	-
18 食 料 品 製 造 業	44	318	163	34	143	5	10	175	158	-	-	-
21 衣 服 繊 維 製 造 業	2	22	17	1	4	-	1	18	17	-	-	-
22 木 材 木 製 品 製 造 業	8	24	14	7	21	12	1	3	2	-	-	-
24 紙 加 工 品 製 造 業	1	3	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
25 出 版, 印 刷 同 関 連 産 業	1	2	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
30 窯 業, 土 石 製 品 製 造 業	1	3	2	-	-	-	1	3	2	-	-	-
34 機 械 製 造 業	1	5	2	1	5	2	-	-	-	-	-	-
36 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	1	3	2	1	3	2	-	-	-	-	-	-
39 そ の 他 の 製 造 業	2	3	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-
G 卸 売 業, 小 売 業	196	459	74	184	395	25	12	64	49	-	-	-
40~41 卸 売 業	7	20	4	7	20	4	-	-	-	-	-	-
42 代 理 商, 仲 立 業	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
44 織 物 衣 服 品 小 売 業	22	68	28	19	36	1	3	32	27	-	-	-
45 飲 食 料 品 小 売 業	108	234	20	101	206	1	7	28	19	-	-	-
46 飲 食 店	13	39	11	13	39	11	-	-	-	-	-	-
47 自 転 車 荷 車 小 売 業	6	11	1	6	11	1	-	-	-	-	-	-
48 家 具 建 具 器 具 小 売 業	16	34	1	16	34	1	-	-	-	-	-	-
49 そ の 他 の 小 売 業	23	52	9	21	48	6	2	4	3	-	-	-

業 工 業 商

産 業 分 類	総 数			組 織 別								
	事業 所数	従業 者数	常雇 者数	個 人			法 人			公 営		
				事業 所数	従業 者数	常雇 者数	事業 者数	従業 者数	常雇 者数	事業 所数	従業 者新	常雇 者数
H 金融及び保険業	4	15	11	2	4	-	2	11	11	-	-	-
50 銀行信託業	1	8	8	-	-	-	1	8	8	-	-	-
52 庶民住宅金融業	2	4	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-
55 保 險 業	1	3	3	-	-	-	1	3	3	-	-	-
J 運輸通信業	10	21	9	9	14	2	1	7	7	-	-	-
62 道路旅客運送業	1	5	2	1	5	2	-	-	-	-	-	-
63 道路貨物運送業	9	16	7	8	9	-	1	7	7	-	-	-
K 電気, ガス, 水道業	1	1	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-
70 電 気 業	1	1	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-
L サービス業	111	381	201	81	176	42	20	90	44	10	115	115
80 旅館, 貸間, 下宿宿泊所	7	32	19	6	23	12	1	9	7	-	-	-
81 対個人サービス業	43	93	15	42	87	12	1	6	3	-	-	-
83 対事業所サービス業	4	61	34	-	-	-	4	61	34	-	-	-
84 自動車修理ガレージ業	2	3	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-
85 その他の修理業	11	14	-	11	14	-	-	-	-	-	-	-
86 映 画 業	1	3	1	1	3	1	-	-	-	-	-	-
87 娯 楽 業	1	2	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
88 医療保健業	11	37	17	11	37	17	-	-	-	-	-	-
90 教 育	7	97	97	-	-	-	-	-	-	7	97	97
91 宗 教	15	15	-	1	1	-	14	14	-	-	-	-
92 その他の専門サービス業	6	6	-	6	6	-	-	-	-	-	-	-
93 非営利的団体	3	18	18	-	-	-	-	-	-	3	18	18

商業・工業



商 業

業種別に商店数をみると、飲食料品小売業が104件で全体の53%と圧倒的に多く、他に衣服身の廻り品小売22件、家具、建具什器小売16件、飲食店13件、一般卸売11件等がある。

これらを従業者別にみると家族従業者を含めて、4人以下の商店が96%。5人以上の商店が4%となっており、いかに小さな商店が多いかがわかる。

全商店の年間売上は3億6千6百万円で、一商店当り187万円となる。

本町商店のなやみは、茂原、勝蒲、大原等の近隣市町村の発展により町内の店で買わず、これらの市町村にわざわざ買いに行かれることである。

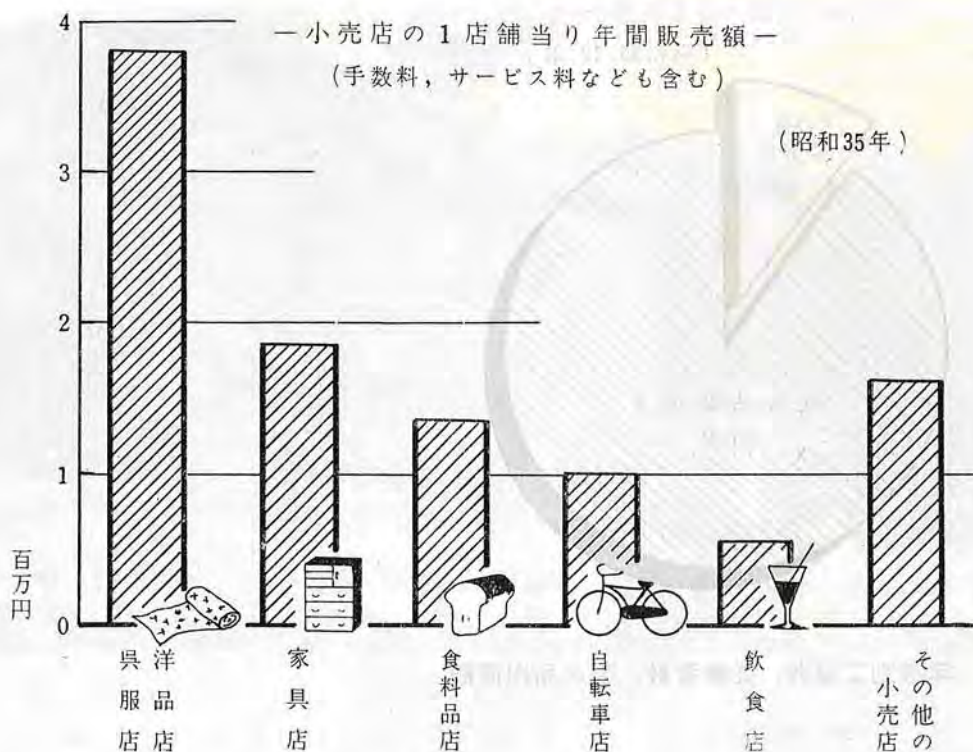
工 業

35年12月末現在の工場数は60、従業者数351人、総出荷額は2億5千7百万円である。

工業数を産業別にみると、いわし、さば等の水産物を主原料とする食料品製造業が73%を占め、木材、木製品製造業の13%がこれにつづいている。

出荷額を年次別にみた場合、昭和30年の2億3千2百万円からほとんどよこばいで伸長性がない。

売上額はどこが多いか



年次別商店数, 従業者数, 販売額

年次	商店数	従業者数	販売額		手数料 サービス 料収	商持 品額	売場面積 (平方米)	営業 支出額
			月間	年間				
33	181	405	千円 26,568	千円 303,720	千円 2,973	千円 37,996	3,517	千円 17,437
35	196	453	29,493	366,250	3,187	38,059	4,527	20,198

昭和35年商業調査, 産業別商店数, 従業者数, 販売額

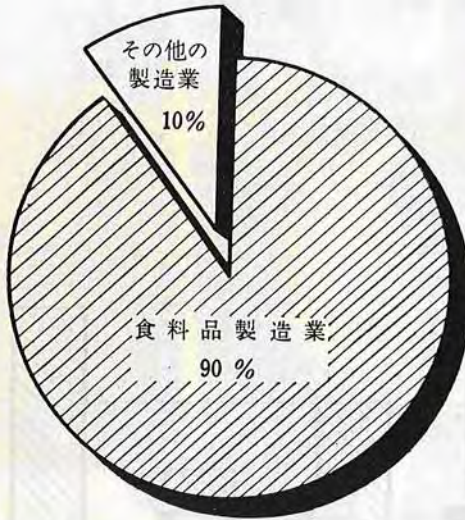
(中分類) 金額単位: 千円

区分 産業分類別	商店数	従業者数	売場面積 (平方メートル)	月間販売額 (35年6月)	年間販売額 (34.6~ 35.5)	商品手持額 (5.31現在)	代理、仲 立手数料 収入	修理料 サービス 料収入
総数	196	453	4,527	29,493	366,250	38,059	253	2,934
一般卸売業	11	31	1,536	5,685	62,353	1,120	-	450
代理商仲立業	1	1	3	-	-	-	100	-
織物, 衣服, 身のまわり品小売業	22	67	534	6,621	84,861	16,897	-	230
飲食料品小売業	104	221	1,658	11,044	140,579	8,189	153	139
飲食店	13	38	7,133	-
自転車荷車小売業	6	11	133	521	4,928	1,237	-	1,200
家具建具, 什器小売業	16	34	292	2,460	29,719	4,740	-	485
その他の小売業	23	50	371	3,162	36,677	5,876	-	430

出荷額の大半は食料品製造業

—製造品出荷額の産業別割合—

(昭和35.12.31)



年次別工場数，従業者数，製造品出荷額

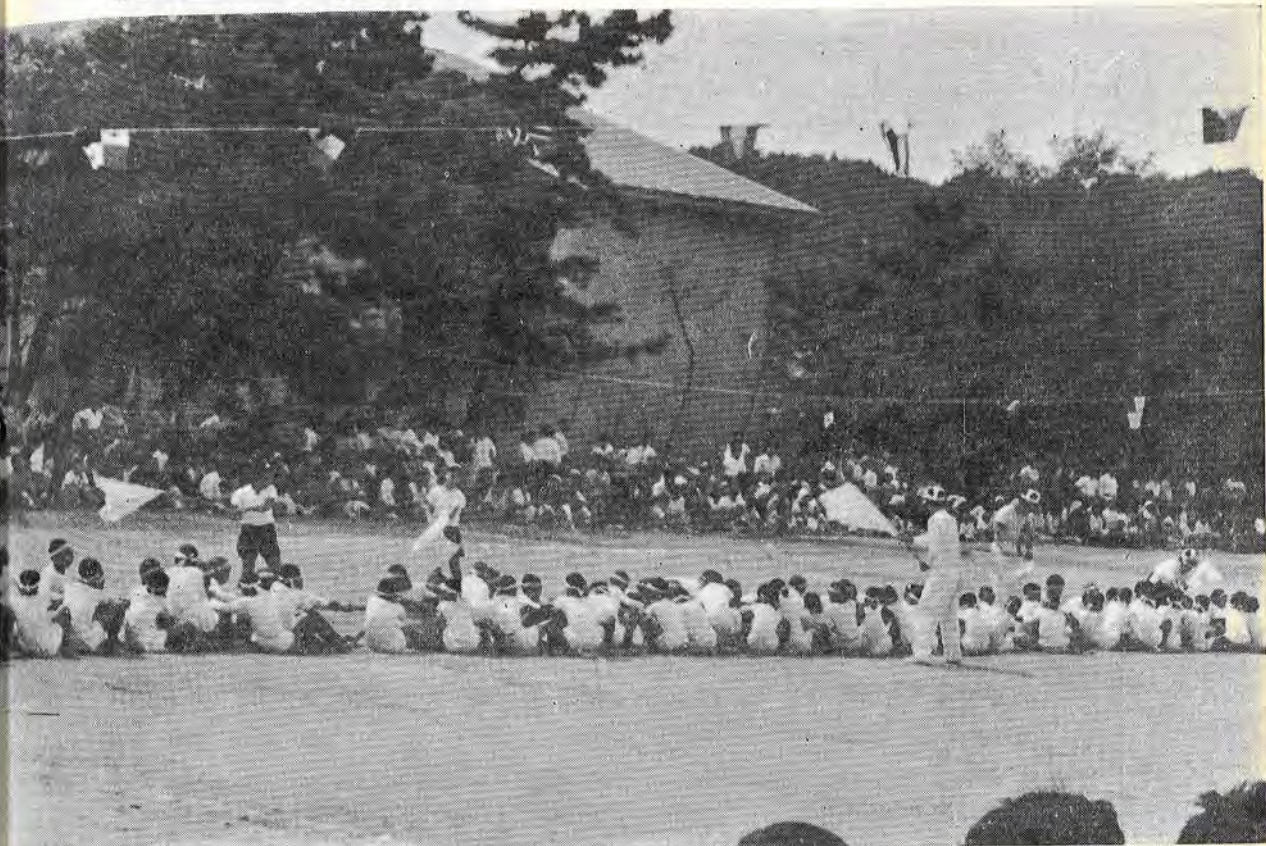
年次	組織別事業所数			従業者数			製造品出荷額(千円)			
	計	法人	個人	計	常労働者数	業主及び家族従業者	計	製造品出荷額	加工賃収入額	修理料その他
昭和30年	58	14	44	226	121	105	231,969	228,684	1,827	1,458
31	58	14	44	366	41	325	194,443	191,205	2,223	1,015
32	60	16	44	387	293	94	264,879	261,432	2,941	506
33	61	16	45	410	301	109	290,070	285,880	3,282	908
34	59	16	43	377	282	95	286,725	282,302	3,734	689
35	60	13	47	351	258	93	257,151	251,374	4,857	920

産業中分類別工場数，従業者数，製造品出荷額

(昭和35年12月工業調査)

産業中分類	工場数	従業者数			製造品出荷額 (千円)	主たる生産品名
		計	常労働者数	業主及び家族従業者		
総数	60	351	258	93	257,151	
食料品製造業	44	294	219	75	230,824	イワシ加工品，油，菓子
衣服その他繊維製品製造業	2	21	20	1	3,922	婦人子供服，レイコート
木材木製品製造業	8	19	11	8	16,185	各木製品
出版印刷同関連産業	2	4	0	4	2,350	活版印刷
窯業土石製品製造業	1	3	3	0	360	瓦
電気機械器具製造業	1	5	3	2	1,610	船舶機械
輸送用機械器具製造業	1	3	2	1	1,400	木船
その他の製造業	1	2	0	2	500	

教 育



小・中学校合せた児童，生徒 2,336 が，75人の教員によつて教育を受けている。

一世帯当りの児童，生徒数は 1.2 人，これは町人口の 25% に当る。本町は教育施設の充実に力をそそぎ，31年及び32年に中学校 1,150 平方米，34年に岩和田小学校 834 平方米を建築し，更に，36年度で中学校 639 平方米を建築することになつている。

昭和35年度の中学校卒業者数は 138 人，この内進学したものが 74 人，就職したもの 59 人で，この内 66% が製造業，20% がサービス業に従事し，農林及水産業従事者はわずかの 4 名にすぎない。

教 育 委 員

役 職	氏 名	住 所	職 業	備 考
委 員 長	井 上 清	久 保 2095	医 師	教 育 長
委員長代理	吉 野 嘉 胤	実 谷 286	農 業	
委 員	片 岡 要	須 賀 467		
〃	堺 重 兵 衛	六 軒 町 394	昼 職	
〃	熊 井 忠 男	岩 和 田 908	浴 場 業	

昭和36年 6 月末現在

小・中学校職員，児童（生徒）数

育

昭和36年5月1日現在

学 校 名	教 職 員 数			学級数	児 童（生徒）数			校 長 名
	計	男	女		計	男	女	
小 学 校 御 宿 小 学 校 岩 和 田 小 学 校 布 施 小 学 校	24	7	17	19	826	406	420	渡 辺 一 夫
	10	5	5	7	263	127	136	吉 野 登
	15	6	9	12	455	225	230	浅 野 太
小 学 校 計	49	18	31	38	1,544	758	786	
御 宿 中 学 校	26	19	7	17	792	393	399	滝 口 松 蔵
合 計	75	37	38	55	2,336	1,151	1,185	

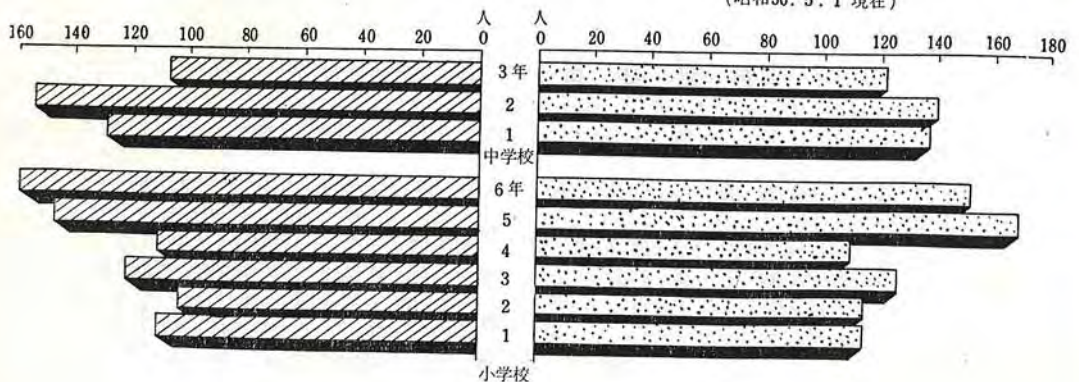
学年別児童（生徒）数

昭和36年5月1日現在

学 校 名	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
小 学 校 御 宿 小 学 校 岩 和 田 小 学 校 布 施 小 学 校	61	61	61	56	68	69	60	57	80	95	76	82	406	420	826
	13	19	13	30	20	21	21	14	27	21	33	31	127	136	263
	38	34	30	28	35	36	31	38	41	55	50	39	225	230	455
小 学 校 計	112	114	104	114	123	126	112	109	148	171	159	152	758	786	1,544
御 宿 中 学 校	131	137	154	140	108	122							393	399	792
合 計	243	251	258	254	231	248	112	109	148	171	159	152	1,151	1,185	2,336

学年別の生徒・児童数

(昭和36.5.1現在)



学校施設

学校建物の構造別用途別面積

昭和36年5月1日現在 (単位:坪)

学 校 名	教 室		実験実習室		管 理 関 係 他		講 堂		合 計		
	木 造	鉄 筋 コンク リート	木 造	鉄 筋 コンク リート	木 造	鉄 筋 コンク リート	木 造	鉄 筋 コンク リート	木 造	鉄 筋 コンク リート	計
小 学 校 { 御宿小学校	364	-	42	-	424	-	112	-	942	-	942
小 学 校 { 岩和田小学校	60	104	20	-	90	61	77	-	247	165	412
小 学 校 { 布施小学校	211	-	-	-	331	-	142	-	684	-	684
小 学 校 計	635	104	62	-	845	61	331	-	1,873	165	2,038
御 宿 中 学 校	160	153	36	-	177	113	93	-	466	266	732
合 計	795	257	98	-	1,022	174	424	-	2,339	431	2,770

学校土地の用途別面積

昭和36年5月1日現在 (単位:坪)

学 校 名	創 立 年 月	屋外運動場	実験実習地	校 舎 敷 地 そ の 他	計
小 学 校 { 御宿小学校	明治 7. 2	4,938	65	1,406	6,409
小 学 校 { 岩和田小学校	明治 7. 2	920	-	728	1,648
小 学 校 { 布施小学校	明治 20. 4	1,689	-	1,307	2,996
小 学 校 計		7,547	65	3,441	11,053
御 宿 中 学 校	昭和 22. 4	4,469	900	833	6,202
合 計		12,016	965	4,274	17,255

高 等 学 校

昭和36年5月1日現在

学 校 名	教 職 員 数			学級数	生 徒 数			所 在 地
	計	男	女		計	男	女	
千葉県立夷隅高等学校 家庭課程校舎	14	6	8	6	294	0	294	御宿町久保 2322

中学校卒業後の状況

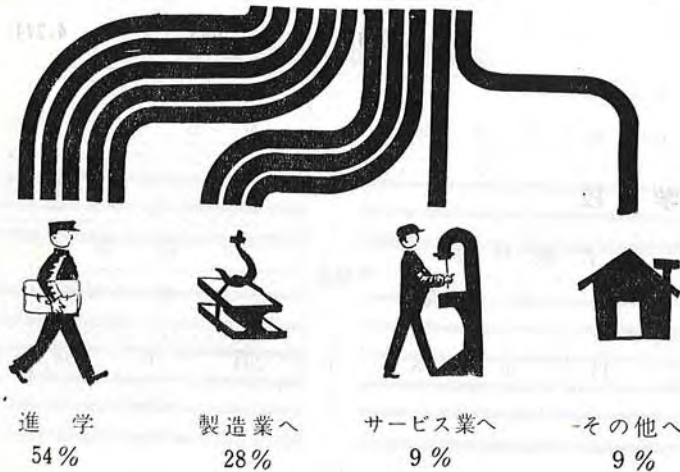
昭和36年3月卒業者

		計	男	女
合	計	138	71	67
進	学	74	33	41
就	計	59	38	21
	業	1	1	-
	業	3	3	-
	業	-	-	-
	業	1	1	-
	業	39	29	10
	業	2	1	1
	業	-	-	-
	業	-	-	-
	業	1	-	1
職 (産業別)	業	-	-	-
	業	1	-	1
	業	-	-	-
	業	12	3	9
	業	-	-	-
そ	の	5	-	5

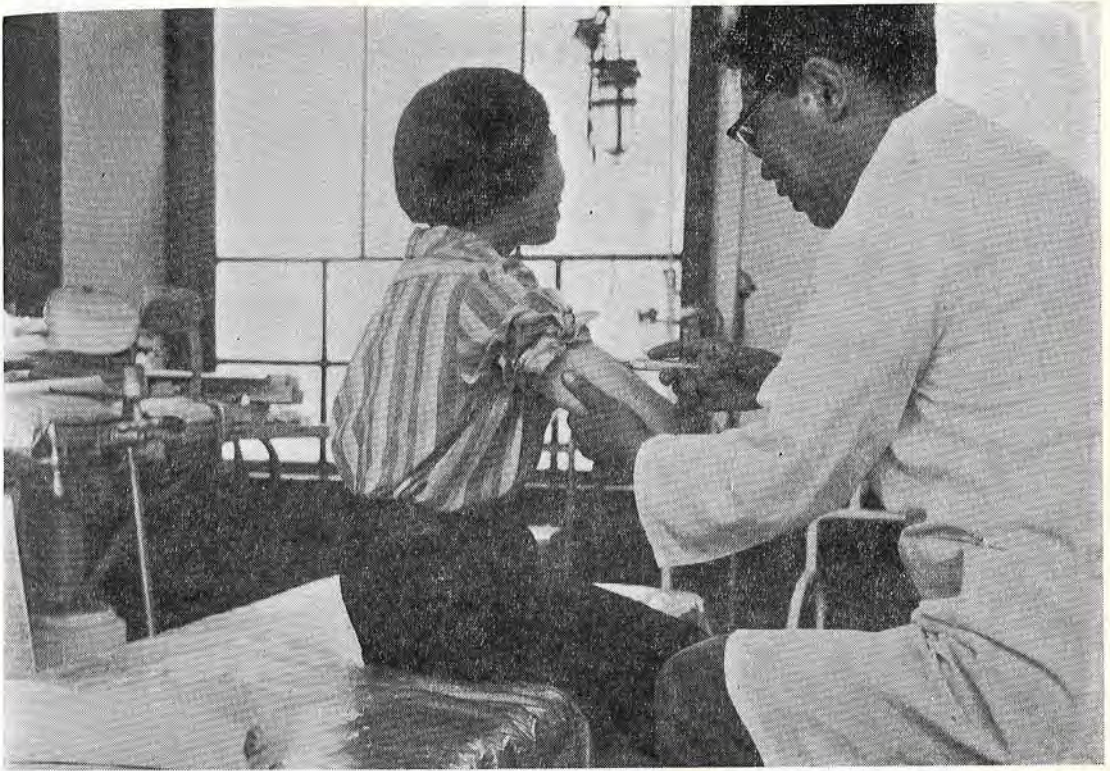
中学校の卒業者はどこへ

— 中学校卒業後の状況調査 —

(昭36.3卒業者)



厚生・衛生



町内には8の病院、診療所があり、10人の医師が病気の予防や診療にあたっている。昭和23年に予防接種法が施行されて以来、法定伝染病は定期的に強制接種を行うため、これらの患者や死亡者数は非常に少ない。

今後、環境衛生に一層力を入れ、観光地に恥ない、清潔な町造りを進めて行く考えである。

民生委員

氏名	住所	氏名	住所
鶴岡 長	須賀 485	為田 多 い	新町 494
関 ト シ	〃 558	瓜本 禎 藏	六軒町 486
米本 正之助	浜 366	関 岩 雄	岩和田 1042
井上 さく	高山田 2084	関 む つ	〃 1069
小池 健	久保 1923	君塚 重 藏	実谷 67
斎藤 源 司	新町 516	佐藤 市之助	上布施 1524

昭和36年6月末現在

生活保護法による保護人員及び保護金額

昭和35年延(単位:千円)

総 額		生活扶助		住宅扶助		教育扶助		その他の扶助	
延人員	金額	延人員	保護金額	延人員	保護金額	延人員	保護金額	延人員	保護金額
3,965	2,481	2,597	2,097	281	78	1,080	271	7	35

保 育 園

昭和36年5月1日現在

区 分	公私の別	所 在 地	園 長	保 母	その他	入 園 児		
						総 数	男	女
御 宿	公	久 保 2180	1	5	4	150	66	84
岩 和 田	公	岩和田 926	1	3	4	90	38	52
計			2	8	8	240	104	136

医 療 機 関

昭和36年5月末現在

名 称	診 療 科 目	医 療 関 係 者		病 床 数	医 師 一 人 当 人 口	備 考
		医 師	看 護 婦 及 見 習			
病 院	大地病院	外科, 内科, 皮膚泌尿器科	1	5	36	個人
	長谷川病院	産婦人科, 外科	1	4	22	〃
	為田病院	内科, 外科	2	3	20	〃
診 療 所	関 医 院	内科, 小児科, 外科	1	-	-	〃
	井上医院	内科, 外科, 小児科	1	-	-	〃
	吉野歯科医院	歯 科	2	-	-	〃
	関 歯 科 医 院	〃	1	-	-	〃
	岡田眼科医院	眼 科	1	-	-	〃
計		8	10	12	78	1,159

昭和36年5月末

助 産 所		あんま, はりきう		薬 局		医 薬 品 販 売 業	療 術 所	柔 道 整 復 師
助 産 所	助 産 婦	施 療 所	あんま師	薬 局	薬 剤 師			
4	5	7	9	3	3	15	0	0

環境衛生関係施設数

昭和三十六年5月末

計	興行場	旅館		公衆浴場	理容所	美容所	クリーニング	火葬場
		普通	簡易					
37	1	5	2	3	14	7	4	1

法定伝染病患者数

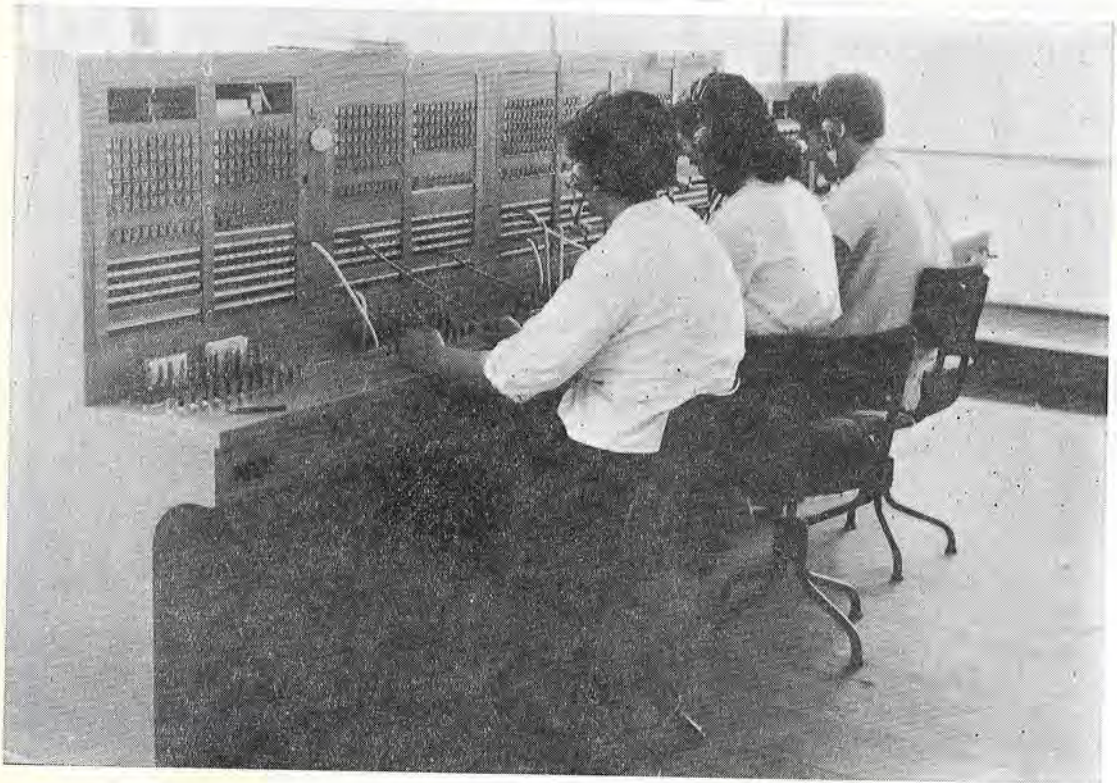
年次	赤痢	腸チフス	パラチフス	ヂフテリヤ	猩紅熱	痘そう	悩炎	その他	計
30	1	-	-	-	-	-	-	-	1
31	2	1	-	28	-	-	-	1	32
32	-	-	-	11	-	-	-	-	11
33	1	1	-	29	-	-	-	-	31
34	1	-	-	4	-	-	-	-	5
35	-	-	-	1	-	-	-	-	1

御宿町における死因別死亡者数

昭和35年1月～35年12月

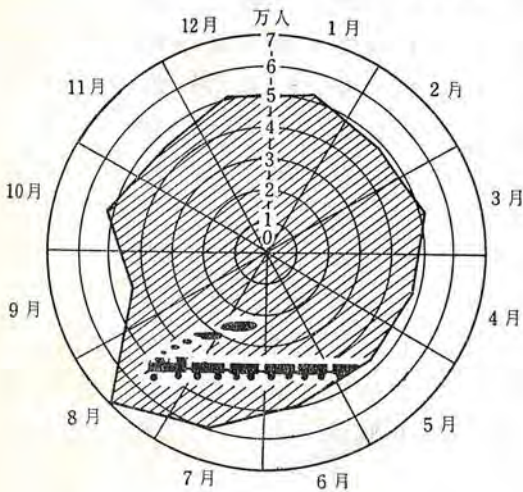
死因別	死亡数	死因別	死亡数	死因別	死亡数
脳溢血	15	慢性腸炎	1	尿毒症	3
心臓衰弱	13	敗血症	1	脳軟化症	3
悪性新生物(がん)	9	急性汎発性腹膜炎	1	慢性大腸炎	4
窒息死	7	肺水腫	1	老衰症	2
シヨツク死	2	左膿胸	1	心臓喘息	2
感電死	1	急性気管支炎	1	感冒	2
溺死	1	胆石症	1	急性脳膜炎	2
縊死	1	肺結核	1	急性心内膜炎	2
頭部挫創兼脳震盪	1	脳栓塞	1	新生児メレナー	1
薬物中毒死	1	急性大腸炎	1	副鼻腔炎	1
動脈硬化性胃炎	1	頭部瘻	1	肺炎	1
胃潰瘍	1	狭心症	5	その他	2
老人性てんかん	1	気管支肺炎	4	計	99

交通・運輸



海は招く

一月別にみた乗客数のうごきー
(昭和35年・御宿駅)



- 国道…国道は2級国道第128号線でその延長4,000メートル、内2,400メートルはアスファルト系簡易舗装で1,600メートルは砂利道である。
- 県道…房総半島を横断して千葉、東京方面との輸送路となつている御宿～国吉線、御宿港陸揚鮮魚の御宿駅輸送の重要線である御宿～勝浦線 総野～布施～大原に通じる三線がある。
- 町道…延長82,477メートル、ほとんどが砂利、土砂道である。
- 鉄道…房総東線が上り下り共に1時間おきに通過している。
昭和29年10月、列車より現在のジーゼルカーに切替えられ、増発と相まってスピード化された事は輸送能力を大きく向上させた。
- 通信…本町における通信機関として、御宿、布施、二つの郵便局があり、直接あるいは委託によりそれぞれ業務を行っている。

道 路

昭和36年6月末現在

	道 路 延 長				墜 道	
	総 数	国 道	県 道	町 道	箇 所	延 長
総 数	94,277 ^m	4,000 ^m	7,300 ^m	82,977 ^m		
内	舗 装 道	3,700	2,400	800	500	
	砂利道その他	90,577	1,600	6,500	82,477	14
						585 ^m

橋 梁

	総 数	木 橋	石及びコンクリート橋
橋 数	72	50	22
橋 長 延 長	400 ^m	263 ^m	137 ^m

諸 車 台 数

昭和36年6月末現在

総 数	乗 用 車		乗 合 車	貨 物 車			自 動 2 輪 車	軽自動車	原動機付 自 転 車	自 転 車	荷 車 リヤカー そ の 他
	普通	小型 4 輪		普通	小型 4 輪	小型 3 輪					
2,467	-	6	-	2	26	34	3	46	170	1,650	530

旅客，貨物，取扱数

年度別	客 旅		貨 物		小 荷 物		備 考
	乗 客	降 客	発 送	到 着	発 送	到 着	
33	582,180 ^人	579,986 ^人	2,295 ^{トン}	6,571 ^{トン}	2,325 ^個	10,143 ^個	33.4~34.3
34	616,256	612,178	1,701	7,204	2,775	11,619	34.4~35.3
35	632,232	623,917	2,022	9,403	2,897	11,673	35.4~36.3

35年月別乗降客数

	総数	1月	2	3	4	5	
乗客	629,926	53,674	49,752	53,146	49,381	48,758	
降客	623,057	53,140	49,244	52,991	49,021	48,265	
	6	7	8	9	10	11	12
乗客	49,978	59,350	69,431	44,800	51,875	47,379	52,402
降客	49,419	59,611	66,959	44,314	51,342	46,868	51,883

普及する電話

— 電話加入者数の推移 —

(単位20人)

昭和
31年



33年



35年



通信機関

局名	種別	局員数	集配区域	郵便函	切手売捌所
御宿郵便局	集配特別郵便局	22	御宿一円	12	9
布施郵便局	無集配特定局	5	—	1	1

郵便物取扱数

区分 年度	通常郵便物				小包郵便物			
	普通		書留		普通		書留	
	引受	配達	引受	配達	引受	配達	引受	配達
昭和30年度	180,403	245,316	5,302	10,157	1,691	4,513	318	1,332
31	189,945	231,141	6,387	11,458	2,465	4,917	396	1,546
32	172,382	199,538	4,954	8,904	2,182	4,027	370	1,351
33	163,885	227,760	5,247	8,539	2,435	4,498	342	1,406
34	141,255	207,882	5,866	9,062	2,587	4,856	345	1,690
35	128,832	263,070	5,659	9,168	2,845	5,572	360	1,848

電話加入および利用状況

御宿局

年次	加入者数	局外通話数			市内通話数 (一日平均)	中継信
		計	発信	着信		
昭和30年	175	122,486	61,815	58,117	2,512	-
31	182	137,441	70,009	67,432	2,605	-
32	184	145,490	73,217	72,273	2,607	-
33	196	144,910	73,584	71,332	2,803	-
34	216	160,192	82,701	77,491	3,088	-
35	237	170,816	84,964	85,852	3,181	-

布施局

昭和30年	14	16,688	9,159	7,529	20	-
31	14	21,856	11,998	9,858	20	-
32	14	22,645	12,825	9,820	20	-
33	14	21,960	12,560	9,400	20	-
34	15	20,448	11,349	9,099	23	-
35	20	20,679	10,319	10,360	28	-

産業別電話加入者数

昭和36年5月末現在

産 業 別	加 入 者 数	産 業 別	加 入 者 数
農 林 業	1	運 輸, 通 信 業	11
漁 業, 水 産 養 殖 業	7	サ ー ビ ス 業	56
建 設 業	4	公 務	6
製 造 業	55	そ の 他	16
卸 売 及 小 売 業	99		
金 融, 保 険 不 動 産 業	2	計	257

電報取扱状況
御 宿 局

区 分 年 度	取 扱 件 数	発 信	着 信	中 継	一 日 平 均
昭和 30 年	13,506	3,751	9,710	45	37
31	11,053	3,872	7,166	15	30
32	10,076	3,561	6,505	10	28
33	10,126	3,292	6,541	293	28
34	10,021	3,337	6,663	21	27
35	9,890	3,396	6,484	10	27

布 施 局

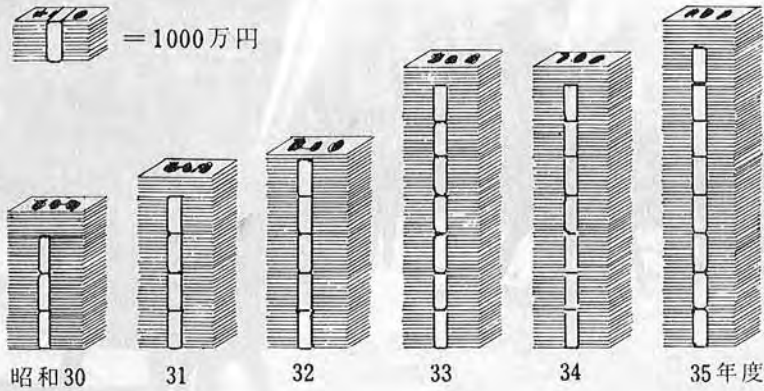
昭和 30 年	1,201	306	895	-	3
31	1,501	382	1,119	-	4
32	1,569	363	1,206	-	4
33	1,637	376	1,261	-	4
34	1,324	337	987	-	4
35	1,250	396	854	-	3

ラジオ、テレビ普及状況

年 次	世 帯 数	ラ ジ オ		テ レ ビ	
		台 数	普 及 率	台 数	普 及 率
昭和 30 年	2,022	1,463	72.0%	4	0.2%
31	2,013	1,490	74.0	7	0.3
32	2,014	1,511	75.0	9	0.4
33	2,024	1,569	78.0	20	1.0
34	2,029	1,449	71.0	74	4.0
35	2,047	1,298	63.0	241	12.0

ふえる郵便貯金

— 預け入れ金額の推移 —



郵便貯金及び為替

単位：千円

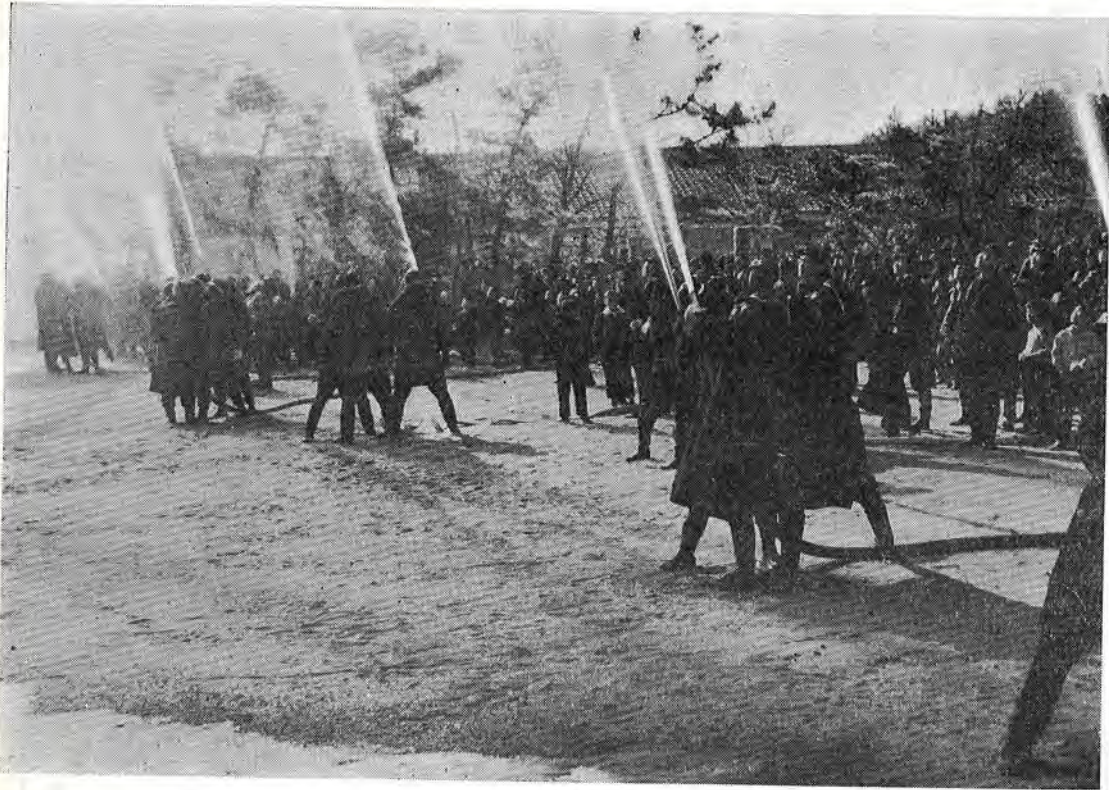
年度	貯 金				為 替			
	預 入		払 戻		振 出		払 出	
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
昭和30年度	8,873	36,068	4,304	30,462	514	2,828	844	5,714
31	9,539	45,316	4,480	34,659	420	2,310	717	5,730
32	10,719	60,860	5,048	48,556	395	2,931	571	5,724
33	12,177	74,580	5,483	60,861	314	2,627	449	4,261
34	13,224	74,442	5,844	64,305	331	3,365	465	5,384
35	13,242	86,653	5,668	71,198	351	2,999	388	4,293

簡易保険，郵便年金

単位：千円

年度	簡 易 保 険				郵 便 年 金			
	新 規 契 約		現 在 契 約 高		新 規 契 約		現 在 契 約 高	
	件 数	保 険 金	件 数	保 険 金	件 数	保 険 金	件 数	保 険 金
昭和30年度	594	34,270	2,836	96,949	1	3	20	76
31	404	25,950	2,432	70,999	1	10	20	221
32	350	25,680	2,630	82,960	1	10	19	221
33	215	13,610	2,657	114,064	-	-	12	140
34	216	23,310	3,953	124,748	-	-	10	120
35	168	13,259	3,728	130,690	-	-	9	120

安 公



警 察 署

昭和36年5月現在

警 察 署	駐在所派出所	警 察 職 員						
		總 計	警 視	警 部	警 部 補	巡査部長	巡 査	そ の 他
-	4	4	-	-	-	1	3	-

消 防

歴 代 消 防 団 長

順代	氏 名	就任年月日	退任年月日	順代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	神 定 新 吉	大正 5. 4. 5	大正11. 2.27	5	君 塚 俊	昭和29. 5. 8	昭和32. 3.30
2	中 村 和	// 11. 2.28	昭和18. 4. 2	6	神 定 美 佐 雄	// 32. 3.31	// 33. 3.31
3	前 田 勝 治	昭和18. 4. 3	// 23. 7.17	7	白 鳥 仲 治	// 33. 4. 1	// 34. 3.31
4	幸 保 理 一	// 22. 7.18	// 29. 5. 7	8	中 村 喜 一	// 34. 4. 1	現 在

消 防 団

団 員

計	団 長	副 団 長	本部部長	分 団 長	部 長	班 長	団 員
444	1	2	8	13	26	65	329

消 防 機 構

団 長—副 団 長—	—	消 防 団 本 部
	—	第 1 分 団
	—	第 2 分 団
	—	第 3 分 団
	—	第 4 分 団
	—	第 5 分 団
	—	第 6 分 団
	—	第 7 分 団
	—	第 8 分 団
	—	第 9 分 団
	—	第 10 分 団
	—	第 11 分 団
	—	第 12 分 団
—	第 13 分 団	

消 防 機 械 力

昭和36年6月末現在

総 数	消防自動車 ポンプ	三輪自動車 ポンプ	手挽ガソリ ンポンプ	可 搬 動 力 ポ ン プ	腕用ポンプ
13	5	1	4	2	1

消 防 水 利

昭和46年6月末現在

総 数	消 火 栓	貯 水 槽 (池)		河川使用箇所	海水使用箇所
		40立方米以上	40立方米未満		
62	—	32	15	13	2

觀光





《海女》

御宿の良さは2, 3日以上滞在して見ると尙良く味わえます。
次のようら楽しみ方があります。

バンガロー・キャンプ

海岸の砂丘にはバンガロー・キャンプが点在して、若い人達が青春を謳歌しています。月の夜の海岸など忘れられない思い出になるでしょう。環境が良いのでアベックで歩いてても心配ありません。

岩和田展望台

東の方を見ると、山の上に白い塔が見えるでしょう。あれが日西墨交通発祥の記念碑です。遠い慶長年間に遭難したスペイン船を土地の海女たちが身を以つて救助したことから、日本とスペイン、メキシコの間に関交貿易が開かれたという記念碑です。ここから眺める御宿のパノラマは又格別です。

散 歩

御宿は松林の町です。海をながめる緑の木立の中で、蝉しくれにつつまれながら、真夏の午さがりをすごすのを楽しみにしている方もいます。

地 曳 網

自分たちで地曳をひいてその魚を食べるというのも一興でしょう。

網代湾の舟あそび

釣や海女の作業見物のために遊覧船が岩和田港より出ます。
又、観光協会に御相談下されば漁師の舟を韓放致します。

新川のボート

お子さん達は新川でボート遊びを喜ばれるかも知れません。

催しもの

花火大会、宝さがし、西瓜ながし、盆踊り大会、角力大会、
映画会など次々に行われます。

狩 獵

秋になるとキジ、山鳥、カモなどを追うハンター達の世界で
す。





《にぎわう海水浴場》



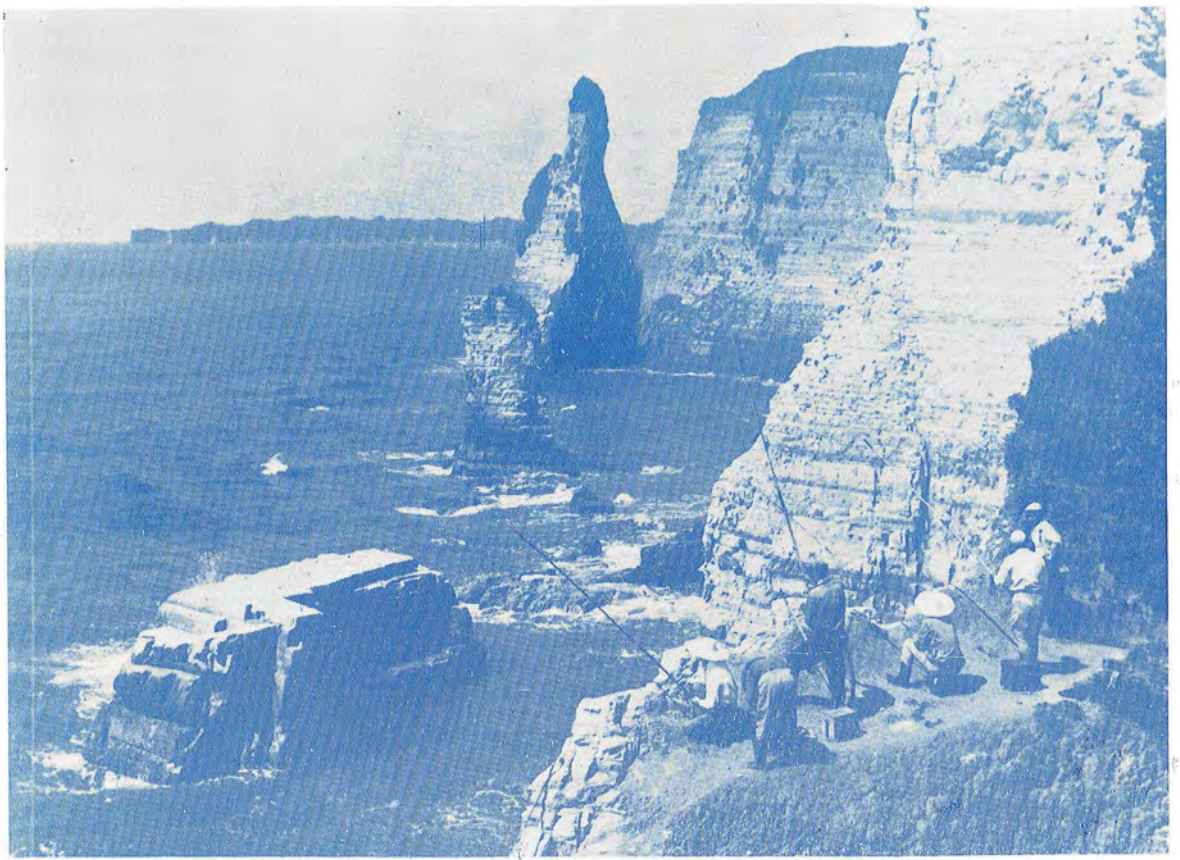
《サンドスキー》



《海女》

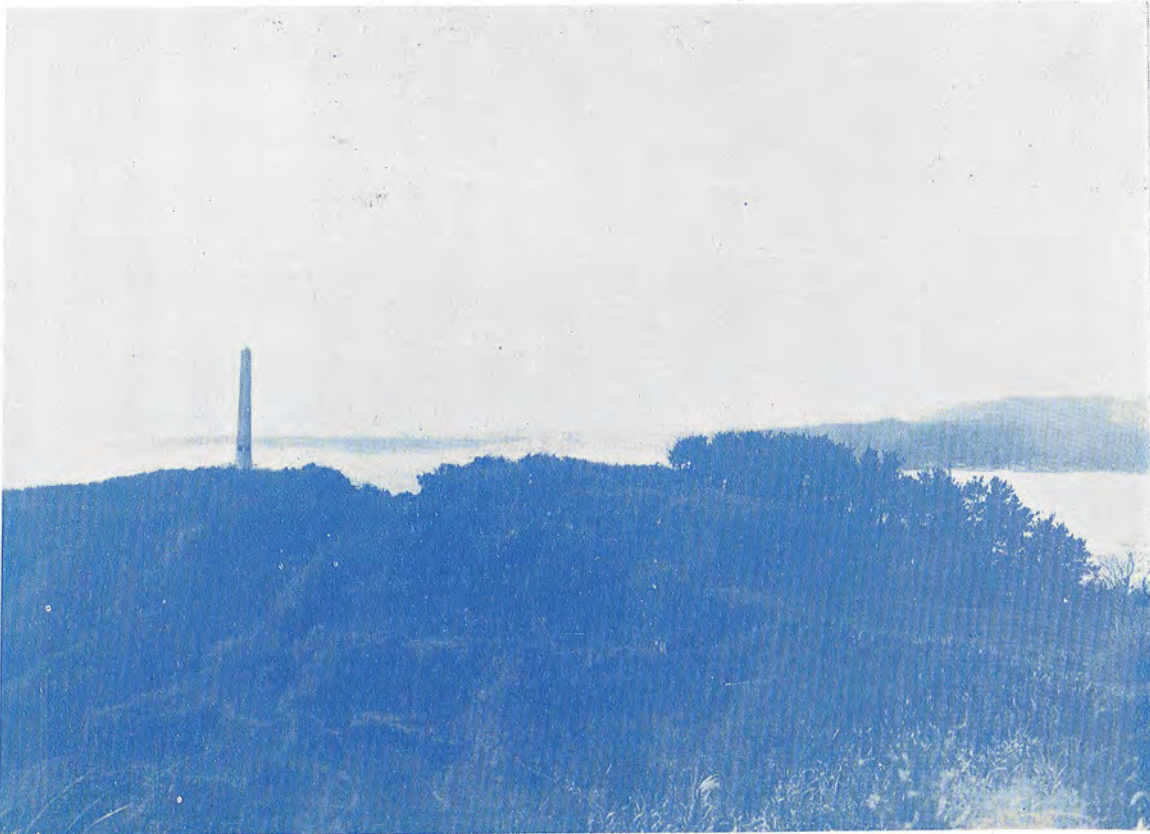


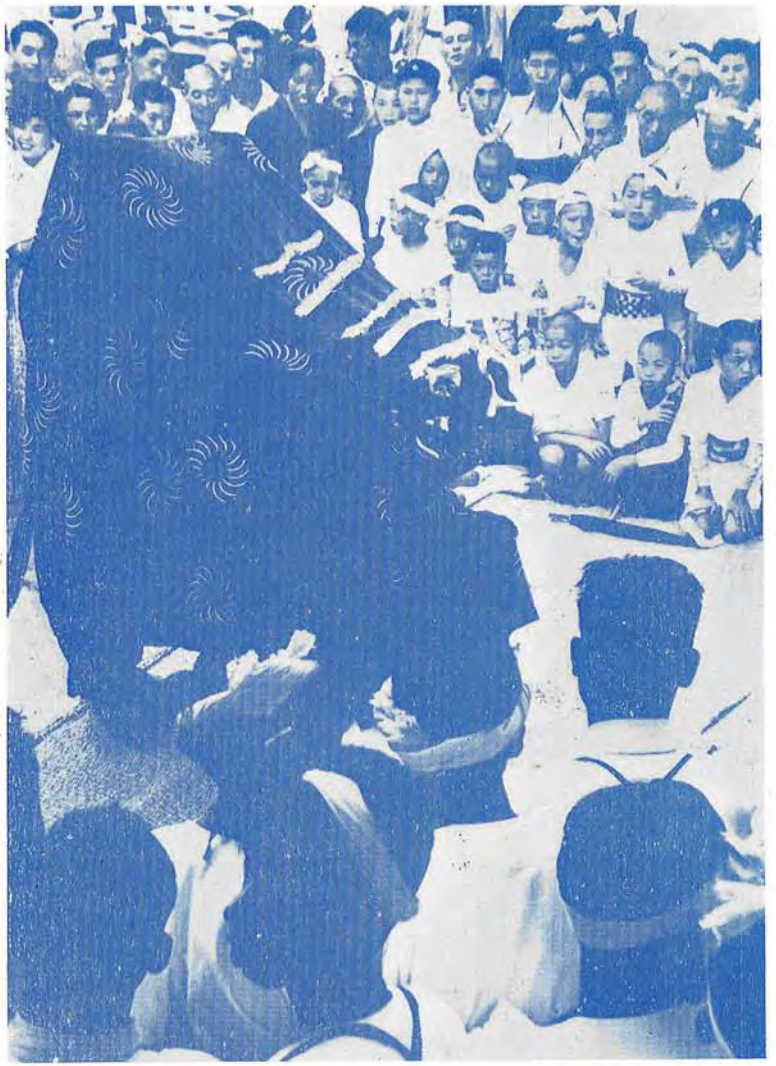
《新川のボート遊び》



《磯 づ り》

《日西墨交通発祥記念碑》





《おかくらの舞い》

《お祭り》



御宿小唄

一、網代湾から朝日が昇りゃ

今日も大漁よ 赤旗立てて

浜は地曳きの人の波

来なさ おいでさ よって見な

御宿 ヨイ／＼ 夢の町

三、春日さまかよ 浅間さまか

逢いに行くやら 願かけるやら

急ぐあの娘のあて姿

来なさ おいでさ よって見な

御宿 ヨイ／＼ 夢の町

四、サンドスキーは海辺の花よ

君と手をくみスロープ越えりゃ

浮ぶ絵のよな記念塔

来なさ おいでさ よって見な

御宿 ヨイ／＼ 夢の町

二、海は遠あさ 砂丘のかけに

浮世忘れたロマンスキャンブ

濡れて咲くのは月見草

来なさ おいでさ よって見な

御宿 ヨイ／＼ 夢の町

五、上総御宿 見せたいものは

海女のえくぼと夕影松に

かおる文化の五倫校

来なさ おいでさ よって見な

御宿 ヨイ／＼ 夢の町

史跡・名勝

夕影の松

須賀最明寺の境内にあり、その昔北条時頼が諸国巡業の際たまたま当地に立ち寄られ、あまりにも景色がよいので一泊された。それに因んで詠んだ歌に、

御宿せし その時よりと人とはば 網代の海に夕影の松
という古歌があります。

この歌のように夕日を浴びて、網代湾にそのかげを映じた時の風光は明媚であったと伝えられています。

袴山

町の一番北方にある二つの丘、これを袴山といい、山上には浅間神社をお祀りしてあります。

千人塚

袴山の下に一つの石碑がたつています。元禄16年11月22日大地震と共に大津浪がおこり、多くの人が溺死しました。この人達の死屍を集めてここに葬り、千人塚と名付けました。

弓折坂

天正17年6月上旬、房州里見左馬頭義が上総の万喜城を攻めようとして戦ったがついに敗れ、この地に来た時には、すでに弓折れ、矢尽きてしまつたところから名付けられたもので、高山田の山中にあります。

堂坂薬師

本尊は弘法大師の作といわれ、岸壁に彫刻されてある。ここに至る経路は奇嶮羊腸たる山頂の細道を通り、薬師堂の下は断崖絶壁で、大平洋の荒波が打ちよせ、その望めは雄大というほかはありません。

日西墨交通発祥記念碑

今から三百二十余年前、西欧スペイン国が現在の米領フィリッピン群島を統治していた頃、スペイン政府任命の総督オリサバ伯爵ドン・ロドリゴデ・ビベーロイ・ベラスコ氏が任期満ちてメキシコへ帰航の途中、乗船サンフランシスコ号の乗組員三百余名と共に後陽成天皇の御治世、慶長十四年（西暦千六百九年）陰歴九月四日即ち陽歴九月三十日の夜半に千葉県上総国夷隅郡浪花村（現御宿町）岩和田港海岸で難破、上陸した不時の出来事が因縁となって日本とメキシコ及びスペイン本国との交通が開かれたばかりで

なくひいては、ラテン文明諸国との接近を来した事実は、当時国際親善の増進に資する所の世界的一大事績だとたたえられた。まず総督一行の遭難の際飢餓を救い、衣類を与え、或は婦女子等は体温を以て漂着者を蘇生せしめ帰国の船までも提供した日本国民の行為、徳川家康と継嗣秀忠がスペインから鉱山技術者派遣の協定をした事、家康のフィリッピンを経由して西欧の文物を輸入せんとする年来苦心の目的が達せられた事と、京都商人田中勝助、朱屋隆成等二十名ばかりの商人団が総督に同伴してメキシコへ渡航し、日本人最初の太平洋横断航海の記録を残した事、総督無事帰国の答札使節セバスチャンピスカイノー一行が来朝し、東海岸の港灣を測量した事から伊達政宗が支倉六右衛門一行を答札使節帰国の船に便乗せしめて、スペイン及びローマへ特派した事などの史実は、総て総督漂着から起ったもので安政以前約二百年間一時鎖国して外国文明の接触を避けて居た我国が列強との通商協定をなして国威を保ち国家の安定を得ることが出来たのもみなこのことが起因となっています。

この由緒ある史実を尊重し、かつ永久にこれを追憶するため、昭和三年十月一日、漂着地点至近地轟台上に日西墨交通発祥記念碑が建立されました。

サンドスキー場

外房唯一のサンドスキー場として昔から有名です。

場所は海岸に近い岩和田地先で海水浴場と共に夏の良い遊び場となっています。

網代湾

日本三網代の一とされ、湾内は水清く波静かで沿岸一帯は白砂相連なる特有の砂丘が見渡すかぎり広々と起伏している。湾内は外房唯一の漁場といわれるだけに、ここで獲れる新鮮な魚は毎日私達の食膳を賑わしています。

又、沿岸は遠浅なので海水浴場に適し、夏は大小のかっぱでうずまり非常な賑やかさです。

片浜

網代湾より西方沿岸をいいます。名称の起りは、この近海は春冬の季節は漁利多く、秋夏の候は漁利が少ないために片浜といわれるようになったといわれています。

恋しさに慰めやとて合うまでは いざやかたみの浜にかもねん

奈留加の海

打寄せる波の音が絶えないところから、網代湾沿岸をなるかの海といいいます。

弓張りの月の宿れる底をみて なるかの海に海女入るらん
という古歌もあるように昔からロマンチックなところでもあります。

伝 説

海女の伝説とお千代ヶ淵

岩和田に伝えられる海女の伝説は、荒海そだちのはげしい女の情熱をあますところなく伝えています。

その伝説とは、昔、岩和田に一人の美しい海女がいて年頃になるとたくましい若者とねんごろになりました。

若者は働きもので沖へばかり出る日が多く、海女は淋しくやるせなくてしかたがありませんでした。海女は毎日海がしけるのをのぞんでいました。この浦の沖には傘ほどもある大鮑がすんでいて、その鮑にふれると必ず海があれらるといって、海女たちは決して近寄りませんでした。

若者に恋こがれる海女は或る日、他の海女達の目をしのんで海底にしずみ、大鮑のそばに近づき、小さい鮑を拾ってはその大鮑に投げつけました。すると不思議、たちまちしけが起り若者は沖から帰ってきて望み通りに合うことができました。

海女はこうして毎日毎日、海をあらしては若者と会う瀬をたのしんでいました。然し、それでも満足しない海女は、或る日又もや大鮑のそばにより数日ぶんのあらしを一時におこそうとして、そこにある沢山の鮑を大鮑めがけてメチャクチャに投げつけました。すると数日分の大しけが一時におそってきて、たくさんの舟が難破しました。海女はさすがに沖に出ている若者の舟が心配になって沖へこぎ出しましたが、大鮑の附近な近づくと、自由がきかなくなって、次第に大鮑の方へすいこまれて行きました。これを遙かにみた男の舟があわてて沖から引返し女の舟を追いましたが、遂に海女は舟と共に沈んで見えなくなってしまいました。

荒海そだちの女の情熱をむきだしにしてみせてくれた伝説です。

神社・仏閣

卷 三

社 神

社 神 名	鎮 座	祭 神	宮 司
春日神社	高山田	天兒屋根命, 武甕追命, 経津主命, 栲幡千千姫命	井上 文吉
八幡神社	〃	誉田別命	〃
八坂神社	須賀	素戔鳴命	〃
白幡神社	〃	源氏の先祖	〃
熊野神社	浜	底筒王命	〃
月夜見神社	〃	月夜見命	〃
浅間神社	久保	木花咲耶姫命	〃
皇神社	六軒町	天照大神	〃
大宮神社	岩和田	大物主命	〃

仏 閣 附 教 会

仏 閣 名	所 在 地	宗 派	住 職
最明寺	須賀	天台宗	松崎 興田
妙音寺	浜	〃	浅野 航海
観音寺	〃	〃	〃
聖徳寺	〃	〃	青山 行政
妙昌寺	久保	日蓮宗	岩淵 正道
西林寺	高山田	曹洞宗	殿城 道印
音教寺	六軒町	真宗	二宮 誠啓
天理教 御宿文教会	新町	天理教	藤江 熊三郎
安立寺	岩和田	日蓮宗	川崎 暁清
法蔵寺	〃	天台宗	塩田 高浄
大福寺	〃	曹洞宗	渡辺 胤生
浄願寺	〃	真宗本願寺派	秋田 頸隆
清光寺	〃	天台宗	井上 高徹
観音寺	七実本谷	〃	浅野 興典
長慶寺	〃	曹洞宗	河崎 泰典
円蔵寺	〃	天台宗	浅野 興典
真常寺	上布施	曹洞宗	池田 覚道
宝泉寺	〃	〃	〃

特別職・吏員名簿

(昭和36年8月末現在)

職名	氏名	課名	分掌事務	住所
町長 助役 収入役 書記	井上 文吉	収入役室	出納事務	高山田 2084
	相原 誠三郎			六軒町 486
	佐藤 清司			上布施 2106
	水上 一夫			六軒町 441
課長 書記 〃 〃 〃 雇 運転者	岩井 敏夫	総務課	行政全般及財政、庶務 財政、貯蓄、自衛隊、選挙 広報、統計 議会、区会長、監査委員会、消防 戸籍、住民登録 外国人登録、戸籍、住民登録、 証明	岩和田 985
	鶴岡 栄治郎			須賀 538
	東 栄藏			岩和田 865
	木谷 良司			浜 345
	吉野 二三			実谷 1137
	渡辺 早智子			須賀 556
	松本 勇			久保 1879
	〃			〃
課長 書記 〃 〃 〃 雇	和田 正美	税務課	町税、諸税、特別徴収 固定資産税、町税徴収 町民税、木材引取税、町税徴収 〃 固定資産税、町税徴収 税に関する各種証明	岩和田 1022
	井上 徳藏			新町 684
	吉野 誠			上布施 1879
	高橋 金夫			〃 880
	加藤 長子			六軒町 452
	佐藤 泰子			浜 2163
	〃			〃
	〃			〃
課長 書記 〃 〃 雇 〃	吉野 等	産業課	農業全般 国有農地管理、登記事務 農業委員会、農地調整、米穀供出 農山漁村建設、土地改良、融資 商工水産、観光、配給 農業経営、土木一般	実谷 524
	吉野 義雄			上布施 3701
	吉野 正義			七本 321
	池田 覚道			上布施 1474
	式田 俊夫			浜 162
	吉野 和美			上布施 3032
課長 書記 〃 〃 雇 〃	浅野 與典	厚生課	保育所運営 社会福祉、保健衛生 国民健康保険 国民年金 国民健康保険 国民年金	実谷 602
	河崎 泰俊			〃 924
	岩瀬 剛			高山田 1832
	佐藤 和弥			上布施 2155
	金井 紀美男			岩和田 990
	大八 木明			新町 609

特別職・吏員名簿…(続)

職名	氏名	課名	分掌事務	住所
雇	嶋田昌子	教育委員会	教育委員会	高山田 801
備人	石井はつ	岩和田小学校	備人	岩和田 1117
//	市東ひさ	御宿中学校	//	新町 68
//	古沢たま	御宿小学校	//	久保 2080
//	鶴岡まち	御宿保育所	//	須賀 185
保育所長	井上文吉	御宿保育所	所長	高山田 2084
保母	池野寿江		保母	岩和田 1332
//	内山真佐子		//	茂原市 2384
//	市東きち		//	岩和田 891
//	相原千鶴子		//	六軒町 486
//	伊藤はな子		//	須賀 436
//	小高節子		//	天津小湊1019
//	小後貫和子		//	大原 452
//	藤平洋子		//	新町 578
保母	麻生久子	岩和田保育所	保母	新町 170
//	高梨さつ		//	岩和田 832
//	山田栄子		//	新町 285
//	渡辺喜美		//	新町 170
//	吉野富美子		//	岩和田 729

公 職 者 名 簿

(昭和136年6月末現在)

役 名	氏 名	住 所	役 名	氏 名	住 所	
区 長	君塚為治	須賀 341	国保運営委員	君塚久仁治	実谷 95	
	大谷安喜三郎	浜 346		松木鼎	久保 2158	
	井上源吉	高山田 888		岡田正久	新町 696	
	白鳥毅	久保 2126		関和	〃 594	
	内山保	新町 481		江沢富士松	岩和田 925	
	瓜本禎藏	六軒町 486		式田吉藏	浜 295	
	江沢富士松	岩和田 925		吉野嘉胤	実谷 286	
	吉野栄峯	上布施 2029		鈴木忠三郎	高山田 44	
	君塚久仁治	実谷 95		市東幸治郎	岩和田 1127	
	佐藤中	須賀 396		佐藤良平	須賀 321	
	渡辺季義	上布施 1602		伊藤均	〃 607	
	和田正美	岩和田 1022		大谷良司	浜 345	
	浅野典	実谷 602		大峯岸淳	〃 600	
井上徳藏	新町 684	鈴木幹雄	高山田 92			
関岩雄	岩和田 1042	井上浩一	〃 805			
佐藤亀吉	須賀 402	松本和之	久保 2158			
君塚藤三郎	〃 339	井上勲	〃 2131			
松本松治	浜 359	藤江熊三郎	新町 711			
神定佐一	〃 326	村田東吉	〃 195			
峯岸梅吉	高山田 659	井上初雄	六軒町 462			
井上直治	〃 1533	加藤幸太郎	〃 355			
石井実雄	久保 2111	貝塚亮利	七本 178			
井上尚夫	〃 2143	君塚亮一	実谷 779			
君塚安夫	新町 561	吉野勝也	〃 360			
石井五郎	〃 411	吉野欣也	〃 13			
高梨隆司	六軒町 272	大地淳示	上布施 2696			
氏原定雄	〃 400	大石井曉	〃 1739			
石田市次郎	岩和田 1010	吉田好武	〃 3280			
高田大吉	〃 979	小林幸雄	〃 856			
佐藤勝男	上布施 2106	橋岡一夫	岩和田 936			
吉野松男	〃 2034	小川儀一	〃 838			
吉野貞二	実谷 1064	加藤久雄	〃 987			
吉野章	七本 61	東重雄	〃 1117			
衛生委員	神定美佐雄	須賀 535	消防委員	神定長治	高山田 79	
竹之内文矢	浜 558	式田吉藏		浜 295		
島田貞治	高山田 793	藤江真一		六軒町 429		
中村近雄	久保 2035	市東三郎		岩和田 889		
村田栄一	新町 276	中村喜一		久保 2139		
柳健吉	六軒町 276	滝口一夫		新町 260		
島村文吉	岩和田 831	鈴木勇治		上布施 3460		
鈴木勇治	上布施 3470	神定美佐雄		須賀 535		
吉野嘉胤	実谷 286	白鳥仲治		岩和田 1063		
監査委員	井上忠吾	高山田 802				
	関竜雄	久保 2004				

官公署・各種団体

(昭和36年8月末現在)

官公署及各種団体名	職名	氏名	所在地	電 話
御宿町役場	町長	井上文吉	須賀 160-4	42・232
千葉地方法務局 御宿出張所	所長	萩原 潔	新町 417	6243
御宿郵便局	局長	岩瀬 啓	久保 1950	1・120
布施郵便局	〃	本吉 幸大	上布施 1400	(布施) 1
御宿町巡査部長派出所	部長	佐藤 三郎	新町 839	100
御宿 宿 駅	駅長	菰田 仲司	須賀 191	53
御宿漁業協同組合	組合長	式田 初夫	浜 413	8
岩和田漁業協同組合	〃	水上 甚八	岩和田 926	2
御宿町農業協同組合	〃	神定 喜一	須賀 167-1	59
御宿町農業共済組合	〃	君塚 久仁治	新町 396	
布施農業協同組合	〃	吉野 紋兵衛	上布施 833-1	(布施) 2
御宿町酪農組合	〃	神定 喜一	須賀 167-1	59
御宿町葉煙草耕作組合	〃	滝口 忠司	高山田 1065	
布施葉煙草耕作組合	〃	高橋 丑造	上布施 810	
布施園芸研究会	会長	君塚 司	実谷 95	
高山田園芸出荷組合	組合長	滝口 福男	高山田 1058	
御宿町公民館	館長	関 竜雄	新町 396	
御宿町体育協会	協会長	大地 薫	〃 396	
御宿町農村青少年クラブ	会長	吉野 正	七本 61	
御宿町婦人会	〃	君塚 よし	須賀 428	12
御宿町商工会	〃	内山 保	新町 289	178
御宿町観光協会	〃	岩瀬 禎之	須賀 160-4	42
御宿町カメラクラブ	〃	〃	〃	
千葉銀行 御宿支店	支店長	林 正三	新町 526	25
布施小学校	校長	浅野 太	上布施 909	(布施) 9
御宿小学校	〃	渡辺 一夫	久保 2085	9
岩和田小学校	〃	吉野 登	岩和田 1075	114
御宿中学校	〃	滝口 松蔵	新町 68	101
夷隅高校家庭課校舎	主事	神作 豊	久保 2322	44

御宿町略図

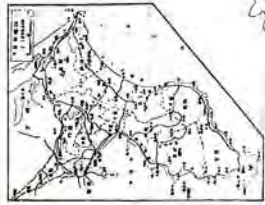


御宿町略図
 縮尺 1:16000
 1. 町界
 2. 市界
 3. 町界
 4. 市界
 5. 町界
 6. 市界
 7. 町界
 8. 市界
 9. 町界
 10. 市界
 11. 町界
 12. 市界
 13. 町界
 14. 市界
 15. 町界
 16. 市界
 17. 町界
 18. 市界
 19. 町界
 20. 市界
 21. 町界
 22. 市界
 23. 町界
 24. 市界
 25. 町界
 26. 市界
 27. 町界
 28. 市界
 29. 町界
 30. 市界
 31. 町界
 32. 市界
 33. 町界
 34. 市界
 35. 町界
 36. 市界
 37. 町界
 38. 市界
 39. 町界
 40. 市界
 41. 町界
 42. 市界
 43. 町界
 44. 市界
 45. 町界
 46. 市界
 47. 町界
 48. 市界
 49. 町界
 50. 市界
 51. 町界
 52. 市界
 53. 町界
 54. 市界
 55. 町界
 56. 市界
 57. 町界
 58. 市界
 59. 町界
 60. 市界
 61. 町界
 62. 市界
 63. 町界
 64. 市界
 65. 町界
 66. 市界
 67. 町界
 68. 市界
 69. 町界
 70. 市界
 71. 町界
 72. 市界
 73. 町界
 74. 市界
 75. 町界
 76. 市界
 77. 町界
 78. 市界
 79. 町界
 80. 市界
 81. 町界
 82. 市界
 83. 町界
 84. 市界
 85. 町界
 86. 市界
 87. 町界
 88. 市界
 89. 町界
 90. 市界
 91. 町界
 92. 市界
 93. 町界
 94. 市界
 95. 町界
 96. 市界
 97. 町界
 98. 市界
 99. 町界
 100. 市界

縮尺 1:16000

御宿町概要

面積	
人口	
産業	
田圃	
山林	
野原	
庄屋	
民	



町民の生活

出生



2.4日に
1人

死亡



3.7日に
1人

婚姻



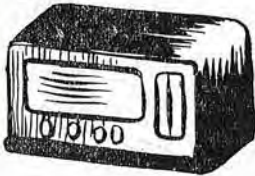
5.6日に
1組

離婚



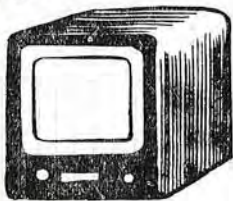
1年に
2組

ラジオ



1.6世帯に
1台

テレビ



8.5世帯に
1台

市吏員



331人に
1人

自転車



1.1世帯に
1台

自動車



1.546人に
1台

電話



8世帯に
1台

タバコ



1世帯
12,000円

住宅



1人
4.2畳

昭和36年9月20日印刷

昭和36年10月1日発行

編集者 御宿役場総務課統計係

東 栄 蔵

発行者 御 宿 町 役 場

御宿町須賀160番地の4

電話 御宿 42・232

印刷所 千 代 田 印 刷

東京都千代田区神田三崎町二ノ三

電話 (331) 9727・(301) 0440

